

潮陵

発行日 平成29年12月
発行元 東京潮陵樽中会
事務局 浦安市日の出1-3-22-406
南澤孝夫 方
Tel 080-5498-8305
e-mail info@choryo.org
HP http://www.choryo.org/

会報14号 東京潮陵樽中会 創立60周年記念号 第2部

創立60周年事業「アンケート調査報告」

OB・OGの経験を在校生に伝え、楽しい人生と職業を目指してもらおう！

・・・ 続き

■お名前

堀 喜久子 (59期・70歳・女)

■経歴

昭和43年に看護師免許取得後、臨床看護(成人看護・小児看護)15年、看護行政5年、看護教員16年、看護協会役員7年、退職後大学病院看護研究会コーディネーターとして6年目です。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

小樽潮陵高校を卒業後、東京通信病院高等看護学院で3年間の教育を受け、看護師国家試験に合格し免許を取得しました。また、小児専門病院に勤務している間に、1年間の看護教員養成課程で学びました。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

看護師という職業を行う上で、必須の免許でした。また、看護教員の免許は看護行政を担当する際に、また短期大学の教員として看護教育に携わる基礎となりました。それらの経験で学んだことは、県看護協会の役員としての業務に非常に役立っていたと思います。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

職業としては「看護師」です。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

業務としては臨床看護、看護行政、看護教育、看護団体役員と幅広い分野を経験してきました。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

看護の楽しさは、いろいろな理由で辛さを感じておられる方やその家族の方が、その辛さが少しでも軽くなったと感じていただけたときにあると思います。看護行政では、臨床看護を「直接看護」として、それを支えるのが看護行政:「間接看護」と表現して業務にあたりました。看護教育では、素人の学生が看護師の卵となって巣立っていく、その成長に少しでも貢献できたかなと感じた時に楽しさを感じました。さらに、卒業生が結婚・出産を経

ても看護師として活躍している姿に出会ったときも大きな喜びを感じています。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

辛さは、苦しみや悲しみを抱えている方に会うとき、それがどうしようもないと分かった時に感じます。「生・老・病・死」これらと直に接するのが看護という仕事です。その辛さを乗り越えられる何かを自分の中で確立していく過程が、「辛さ」なのだと思います。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

数え切れないほどの失敗を経験しています。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

失敗は「失敗だ」と自分を責めるだけでは、何も解決しません。何が失敗の原因か(情報収集や分析にあるのか、または判断にあったのか)、ではどうすれば失敗を回避できたか、修正できる行動は何か、と考えてそれを実行すること(問題解決実践)です。「過ぎ去ったことは戻って来ない」ので、過去を参考にしながら「これから」を考えていく、という姿勢を学びました。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

看護教育や看護研究について、学びを続けています。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

看護教育を行う上で、必要になりました。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

10年先を考えられない年齢になりました。「今を楽しむ」生活をしたいと思っています。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

「潮陵スピリッツ」高校生活の中で何度も耳にした言葉です。在学中は何のことかよくわかりませんでした。今、振り返ってみると「自分の中に確固たるものを築く」ことが、潮陵で学ぼうちに身についたことなのかもしれませ

ん。在校中は合唱部に属していましたので、互いの音を聞きながら自己を表現する方法、も学べたのではないかと考えています。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

18年間の小樽での生活でしたが、私の基礎はこの時代に形作られたと思います。男尊女卑の世の中で、結婚・子育てをしながら職業を全うして来れたのは、ある意味、自由な風潮の小樽の感化を受けていたのでしょう。

■問14. 在校生に伝えたい事は何かですか？

自分のしたいことが、他者との関係の中で大丈夫と思ったら、どうぞ自信を持って、迷わずに選択してほしいと思います。その結果がどうあれ、自己の選択に対して、最後まで責任を持ちましょう。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

依頼があり、日程が合えば、できることをしていきたいと思えます。(看護研究や教育の場面で)

■お名前

本間 智明 (58期・71歳・男)

■経歴

潮陵卒業後 地元企業に就職、同時に商大短期(夜間)入学す。仕事後に就学する定時制生徒の大変さを痛感しました。(短期は融通性があった)

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

商大短期は経済学が主。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

ほとんど役立たなかった。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

倉庫業のみ。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

総務以外全て。倉庫、サイロ、冷蔵庫の出入作業及関連事務。

同上の荷主営業、経理事務。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

種々の業態、製品の性質等、多岐に渡る知識の取得。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

時間のコントロール(例:入港船待ちの為 日中待機、深夜まで作業)

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

経営者になって社業発展のための新規事業の失敗。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

自分の立場の環境を的確に把握し、多くの人と検討する。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

無

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

無

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

潮陵時代に生まれた友情が70歳を過ぎても生きていて、時々力になっている。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

同期の中心になっている(時には苦痛も)

■問14. 在校生に伝えたい事は何かですか？

校内生活を楽しく。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

判りません。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

個が強くなっているので特になし。

■お名前

- (58期・71歳・男)

■経歴

潮陵卒業→大学進学→企業入社→定年→年金生活

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

大学で食品科学。とくに生物化学が好みでした。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

一部ですが、役立ったと思います。自然科学の一般知識が。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

私企業(製薬会社)。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

営業2年→商品企画14年→研究開発10年(7年は海外勤務)→企業理念啓発→病気になり財団に出身→定年

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

「未知のことに向き合うこと」のように思います。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

仕事は楽しい、「つらさは人間関係」でしょう。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ある。仕事に夢中で、その先の「志」を意識しなかったこと。上昇志向は必要。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

組織の中の「ある立場・地位」に目標を定めること。すると、自分の行動が変わることでしょう。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

多分「英語」でしょう。ほぼ毎日触れています。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

好きなので。楽しいから。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

やりたいことは沢山あります：ランニング(実行中)、読書(日本古典、歴史、宗教、英語)、料理、絵(石垣)を描くこと、書道など。囲碁は若いときに始めること。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

3年間勉強せず、「合唱部を過ごした劣等生」でした。浪人して、途中から成績があがり出しました。「歌を歌い、マージャン、花札」を覚えたこと。大人のときはもう関心がなかった。人より先にやったことが正解。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

「故郷」という意識をもったこと。年をとるごとに強まります。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

「志」を強く、高く、固く、考えて明確にすることを、心懸けてみてください。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

私は71歳ですので、「ボランティア」ぐらいでしょう。仕事の夢は今も、ほぼ毎日見ます。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

「勉強することのおもしろさ」を知ってほしいです。私は大学で、そして会社で知った奥手です。高校でそれに気づけば、成績は上がり、未来が明るくなると思います。生きるのに最も大切なのは「ありがとう」「感謝」の気持ちでしょう。そう考えると、相手は良い人になることでしょう。最優先は、「健康」であること。

■お名前

本間幸正 (57期・72歳・男)

■経歴

S38年4月 神奈川県横須賀市にある防衛大学校に入校、S42年3月卒業し 陸上自衛隊に入隊、H12年3月定年退官。この間、カンボジアPKOなど実施。H12年4月から10年間、東京理科大学で事務。H22年からボランティアとして活動中。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

先輩から勧められ高3の秋受験合格。担任は反対した。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

先輩の勧めは役立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

国家公務員(37年)及び私立大学職員(10年)

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

略

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

(1) 奉公

(2) 部下に対する教育・指導---やり甲斐

■問6. その職業のつらさは何ですか？

世間の偏見

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

状況判断のミス、経験不足。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

大学の事務として米軍における状況判断(METT:メッツ)のやり方で業務を遂行。理事長や教授から感謝される。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

(1) 目標を設定し、それを追求する姿勢の堅持。

(2) 人のために何を為すか。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

不撓不屈の精神から。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

(1) 終活を75歳までに完了すること。

(2) 月1回のセミナーに参加。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

東大、東工大、防大に入学できる教育をしていただいた。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

量徳小学校、住吉中学校、潮陵高校に進学できたことへの誇り。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

高2の段階で 志望大学への受験勉強を終了すること。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

地域社会への貢献(ex.福祉ボランティア)

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

先輩との繋がりを維持し、計画性を持って勉強することが大事かと！

■お名前

— (56期・74歳・男)

■経歴

高校まで小樽。美術大学。会社でデザイナー。私立中高校教諭。定年退職。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

美術大学で絵画科(油絵専攻)。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

総て。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

デザイナー。中学・高校教諭。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

商品企画・創造制作。美術教師。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

発想を具体化させる(近付ける)。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

思い出したくない。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

失敗ばかりでした。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

同じ失敗をしない。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

毎日が勉強。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

1度だけの人生だから。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

明日の事もわからない。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

宿題はなかったが、予習を実行していないと大変でした。明日の事を考え生活する。計画が大事。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

美大への進学勉強が出来たこと。相談・指導を受けることが地元でできた事がすばらしい。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

学校で習う事は「さわり」だけだが、社会での仕事はそれでは済まない。本当の学習はそこからです。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

ロボット、原子力とか、想像もつかない。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

文武両道、大切な時間を大切に過ぎて下さい。

■お名前

加藤 義雄 (56期・73歳・男)

■経歴

小樽量徳(小)→住吉(中)(共に廃校)→潮陵高に入学してバレーボール部に入会して、3年間ボールを追いかけて楽しみました。その後、東京へ。先輩の勤める(バレーボール部)会社へ入社し、40年間勤務しました。社長が小樽出身でしたので、人間関係が大きく役に立ち、楽しい職場でした。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

バレーボール部で人間関係と“和”について学びました。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

持続精神と負けずぎらい、礼儀など役立ちました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

大手靴卸業(浅草)

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

下積みから営業関係、特に外交セールスマンが主流でした。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

小さな会社でスタート(10人程)しましたが、新規開拓で得意先を増した事、信用を頂いた時。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

若い時は収入や時間(仕事の時間)が厳しかった事。成人式も不参加でした。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

山程あります。反省して前進の精神で頑張りました。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

自分の力不足を痛感した(努力不足)。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

現役中はパソコンや習字など学びましたが、現在はリタイアしたので学んでいません。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？
仕事で必要でした。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

入社の時10人程でしたが、退職の時は500名の従業員になり、分社、グループ会社も多く(輸入会社、分流通社、小売店会社、保険会社)創立して役員にもなりましたので、ヤル気と努力、勉強が必要です。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

小樽の仲間(千秋、北照、緑陵の仲間)と会うたび、潮陵高の素晴しさを感じ、特に卒業後の連絡(潮陵会、同期会など)が大変密で嬉しく感じます。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

別になし

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

大先輩の活躍を参考にして、平凡な3年間でなく、目的、目標を持って毎日を過ごしてほしい。名門潮陵の名をもっと高めて下さい。自信を持って。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

海外での仕事(英会話力)、情報通信システム業やコンピュータプログラム開発業。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

これからも新しい事に挑戦し、海外を見てほしい。最近、野球も強くなって来た様で(昔は弱かった?)、スポーツにも力を入れて潮陵の名を国内に広めてほしい。潮陵卒の方が活躍しているニュースを聞いたり見たりすると、力が一段と出ますので、自分の力を十分出せる仕事についてほしい。

■お名前

鈴木忠昭 (56期・73歳・男)

■経歴

昭和37年 山一証券入社

平成 9年 同社経営破綻でちば県北農協入組

17年 同農組退職

17年 水戸中央郵便局入社

19年 水戸中央郵便局退社

19年 関東つくば銀行入行

20年 同行退社

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

恩師 蛭名 巖先生よりの言葉

「辛抱する木に花が咲き、やがて立派な実がみのる」
50年以上経った今でも恩師からの言葉を忘れることがありません。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？
精神の支柱としています。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？
証券、JA、郵便局、銀行

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？
証券販売、農協による資金運用、投資信託販売

■問5. その職業の楽しさは何ですか？
楽しさはあまりありませんでした。

■問6. その職業のつらさは何ですか？
ノルマの達成です。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？
ある。相互の意思疎通にかけたとき。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？
互いの意思の確認です。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？
平成10年ごろから取り組んでいるパソコンなどのネットワークです。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？
証券やJAの仕事を通じて欠かせないものでした。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？
今のところ、これというのはありませんが、ふるさと小樽を離れて長い時間が過ぎました。年に一度は帰ろうと思っています。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？
素晴らしい恩師に出会えたことが何より忘れられません。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？
我慢することの大切さ、他の人を思いやることの大切さです。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？
問13の事をそのまま伝えたいです。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

SNSは今後も益々拡大すると思います。大きな可能性を秘めた分野とおもいます。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

今を見ず、先を見て自分の未来に大きな夢と可能性のあることを信じて行動してください。

■お名前

岩井 宏輔 (54期・76歳・男)

■経歴

何でもして来たので書き切れない。川の流れの様に生きてきました。

S39 フォード自動車日本代理店。英会話多少出来た。

S42 札幌コンピューター計算センター設立に参加。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

英会話S39-40(フォードは外人客が多い為)。

S42プログラマー(富士通の研修)。東京大手町のセンターにて勉強。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

役に立ったが能力不足でした。

コンピューターは当時、事務の書類作成や、いろいろな職種の在庫及び請求発注が主で、インターネットや後のCGは、御法度思想でした。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

忘れたい人生ですが、自動車会社では保険を主に。当時外車は珍しく、悪しき職業の人達が多くいて、苦勞したものです。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

上記に同じ。コンピューター:富士通ファコム10と東芝アセンブラープロ。札幌日産、木原等の請求書発行及び営林局等の森林調査。どんな木がどこの地区で何本あるかデータ表に記す。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

世の中のまだ良く知られていない分野で、良く解らぬ点が多かったが、車はとに角高額でしたし、コンピューターも電算機と呼ばれた時代。やっている事が楽しい。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

とに角、難しかったです。勉強とは違い、利益を出す事です。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

同業者に失敗をオーバーにつっこまれたりした。現場が、事務員が首になるとの思いのサボタージュがこたえました。今で言うAIは、人間の交流を引きさく力がある。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

人間は何事にも無理に逆らわず、同調して生きて行く事です。好き勝手なへりくつを言っていては、前には進めない。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

人間の差別と宗教。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

学生時代、部落民の事を勉強していたので。アイヌ等の事も。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

もう年なので、気持はのんびり。第2次大戦のマッカーサーと日本陸軍が東京湾に沈めた残りはどこに消えたのか、この10年来、調査しています。沈めた物(金・銀等)の5分の4は回収の報告。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

青春の第1ページ。そして永遠の思い出。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

人生のスタート。最高の土地。海と山そして川と運河。すばらしい。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

若い人(特に10歳台~20歳台の後半)は、時は流れている事を知らないと言う事です。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

後は天国を目指しがんばります。(天国ってあるのかな?)

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

アンドロメダ星雲まで 250 万光年です。小さいなやみはすてましよう。70 歳をすぎて気づきました。ちょっとおそいかな。

■お名前

本間 榮一 (54期・75歳・男)

■経歴

昭和17年2月21日生まれ(小樽住ノ江町)。量徳小学校-住吉中学校-潮陵高校-武蔵工業大学(電気工学科)昭和39年卒業-日本ビクター(株)カラーテレビ営業技術(セールスプロモーター)(技術知識を基にした営業(セールス)への活用)-全国営業に出される-VHD(ビデオ

ディスクセールスプロモーター—電気店店頭応援(山際電気)10年(定年前)

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

大学入試の数学が100点満点(あとでわかる)。得意で、数学の教授に高校(私立)の教師をすすめられたが、学問だけでなく、人として、どう生きるかを指導するのが難しいと感じ、やめる。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

大学で4年間、グリークラブ(男声合唱)で歌を唄う。4つのパートの音を合わせるのは、たがいの声を聴き合わせるメンタルハーモニーが大切との指導を受ける。---これから、相手の話を聞いて、たがいに相手を尊敬する精神を人生の目標とした。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

上記にある通りだが、上長が、問題があった時、みんなの前で罵声をあびせる様な指導をする方には断乎反発。(営業に出てから)15回の転勤を経験する。尊敬できた方は3人いた(みんな偉くなった。常務、営業本部長、同副本部長)。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

カラーTVセールスプロモーター

- ① 電気回路の中で他社にない回路説明とTVを見る方の効用
- ② 研修所にて、セールスマンに、その効用の説明方法を指導
- ③ C.S.(顧客満足度)から見たセールス話法の開発店頭応援(TVコーナー)

常に1位の実績(当時、ソニーのTVの方が優位だったが)。特約店に対する売上はダメだったが、一般ユーザーに対するセールス話法は多種にわたり(心理話法:そうしないと損すると思わせる誘導話法、など)、販売は得意だった。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

互いに相手を尊敬できる、上下の関係があった時。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

セールスの数字が上がらなかったこと。会社人生の前半(セールスプロモーター)。後半(10年)ヤマギワの店頭応援は楽しかった(自分の能力が発揮できた)。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

42歳の頃(北海道札幌当時)、店の営業部長がOKでTV10台を納入したが、社長がOKせず、即返品となる。これがカラ売りで見なされ、等級が2階級下がった。上長は何の力にもなってくれず(私は知らない事だと自分を保護した。組合も知らぬふり)。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

会社をやめよう、死のうと考えたが、仏教書を独学で学び、悩みを解消する(煩悩をとりさる)。タバコ40本、酒あびる程、女---、2/21誕生日をもって全部やめる。毎日お経をとる。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

60歳で定年した後、お布施の心を持って老人ホーム慰問(修行の一つ)を15年続けている。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

問8で理由は書いた。特に“悩み”をどう解消するか、原始仏教(釈迦の教え)を学ぶ。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

今75歳で老人ホームも15年続いている(マイク無しで歌う。1000曲を超える)。これを94歳まで、声が続く限り、やり通すこと。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

成績は半分より下でしたが、数学と物理は上位だった。文科系は全然ダメで、国立大学は望めなかった。しかし、放送部に属し、3年生には部長もやった。大浦くんは竹馬の友(家の前が彼の家)で生徒会長だった。放送部では音楽放送、フォークダンス開催、放送劇作成など生徒の憩いの場を作った。これが今の老人ホームにつながっている。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

小学、中学の頃は野球をやっていた。ファーストorセンター。チームプレー、団体でやる人間関係、竹馬の友(大浦君---一番長いつきあい)、雨池君(小樽丸井勤務)、能代君(小樽市役所重役クラス)の友情が、今の自分を作っている。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

私のように死のうと思った人間も、立ち直る方法はあるはず。私のように歌が活用できたように、自分の能力を活かすように---

人間関係---互いに相手を尊敬しあえる友を持つこと。妻を持つこと。部下を指導する立場になった時、偉いと言っても会社の中だけ、尊敬される人は人の話をよく聞いてやり(2人で膝をまじえて指導)、みんなの前で恥をかかせる様なことをしない人に！

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

死ぬまで(声が続く限り---マイクなし)今のボランティア(慰問活動)を、94歳までを大目標にやってゆきたい

(現在14年間、1000曲歌う)。歌った曲(カラオケ喫茶で14年間で3000曲達成)。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

学問は出来るに越したことはないが、潮陵は文武両道、学問以外にも、人生にたしになることは沢山ある。何か問題があっても、気分を切り換える方法を自らさがして下さい。(私は、皆さんにすすめはしないが、①こだわりをすてる。②気にしない。③煩惱をすてる(現在:酒を飲まない。タバコを吸わない。うわきをしない。食事は与えられた物をおいしく食べる。腹一杯食べない。)

■お名前

梶 哲也 (54期・76歳・男)

■経歴

一浪で北大、経済学部を卒業

旭化成就職 繊維事業部

59歳で早期退職し、二社の顧問、織物産地(桐生・新潟・米沢・富士吉田)の活性化ヴィジョン・コーディネータ、人材育成機構講師10年、70歳で引退。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

マルクス経済学を学んだ。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

会社では、全く役立たず。考えてみれば、「資本主義は、必然的に滅亡する」と学んで、就職自体がナンセンス。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

繊維営業、繊維マーケティング、コーディネーター、学校講師

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

繊維営業は、化合織の販売を通じ、織物・編物産地を歴訪、一方では、産地の生産品の流通先の生地問屋、アパレルメーカー、小売店廻りで、売れ筋の探求。ブランドビジネスでは、ジャック・ニコラウスを担当顧問は、ファンシーヤーンメーカー、王子製紙子会社で和紙のスリットヤーンの販促。学校では、百貨店やアパレルメーカーの国内留学生に繊維の講座を担当した。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

自社からの流れを辿る楽しさと、新規性が無いと永続きしない現実。合織8社、レーヨン3社は夢の果て。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

新素材の必要性を理解できない、上司との諍い。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

生産発注を間違い、翌月販売分が無くなった。仲間に助けられて、凌げた。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

確認する事。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

今は、川柳を独学中。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

妻に先立たれ、浅草あたりを歩いていて、浅草神社の社務所に川柳教室の看板を見て、見学させてもらった。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

郷里北海道にて、余生を送る。高齢者施設は多いが、小樽は満杯で探索中。

妻の短期介護で、介護の大変さを知り、家族には頼れないと自覚した。支援や介護認定される前に、自主判断した。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

沢山の友を得られた。但し、其の大半は、小中の友だ。小樽を訪れると、一夜は堺小学校6年2組の友と、一夜は札幌で潮陵の同級生と、となる。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

年中、腹が空いていた。岸壁で釣りやひる貝取り、金属拾い等等。

就職して、腹一杯食べたら、15年で30kg位太った。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

積極的に考え、きちんと行動する事。

会社は、考え方によっては、動物園回りの楽しみもある。私はもう一度仕えたい上司は、3人だった。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

市場と技術を交差し、ビジネスチャンスを考える。現状の市場は、近未来の技術で、どう変わるか。夢の技術が出来れば、市場は如何変化するか。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

Be Cool

Be Hot

■お名前

山館 博康 (54期・75歳・男)

■経歴

株式会社第一ホテル入社

全日空エンタプライズ株式会社(航空会社全日空のホテル事業部門を展開している関連会社)

全日空ホテルチェーンを創生、構築している開発部門の業務を経て、東京全日空ホテル(現・ANAインターコンチネンタルホテルチェーン)の総支配人後、専務取締役を務め、2003年に退任。

現在、2004年～以降、CSSホールディングス取締役・監査等委員を務めています。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

1964年 中央大学 法学部 卒業

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

会社における全般的な仕事への一般的な知識を習得し、学生時代の交友関係と人間関係の協調・調和の維持に役立ちました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

大学卒業後、第一ホテル(現・阪急・阪神ホテルグループ)入社。

全日空エンタプライズに転職、2003年退任。

2004年以降、CSSホールディングス監査等委員。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

主要な仕事の業務については、本社の開発、運営事業部門に就き、各地の全日空ホテルチェーンの開発、開業する業務を中心に各地へのホテル開業に携わる。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

全日空ホテルチェーンの拡大は日本経済(観光事業の拡大の時代)の成長に併せてホテルを国際的に展開したことから、各地での種々の経験や知識を習得してきたこと。

事業を開業するために、同僚や部下とともに、事業拡大の夢を追い求めることができたこと。

米国のホテル事業を見聞し、国際的な知識や目新しい世界を学ぶチャンスを得たこと。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

事業を開発、開業して展開するためには、人と人との調和と協力を築き、業務を円滑且つ問題なく進捗するための人間関係を自ら作り出すための人間性の素養を作り出すことが必須であったことから、人間性を磨くことが厳しかったこと。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ホテルの開業には多くの人たちと相協力しなければならないので、多くの人たちとの調和と総合的な協力を発揮させる環境と働きやすい人間関係の構築に失敗することが、各地の地方で、風習と慣行に阻害されて起こり

やすく、何回かのホテル開業を遅延する失敗がありました。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

① 会社では、先ず第一に自己の人間性を磨かなければならないこと。

② 人間関係の良し悪しは、自分の人間性の欠如を自覚すること。

③ 人間関係を良い関係にするためには、自ら話を聞くことが重要なこと。

④ 常に、自分を磨くために、経験や知識、好奇心を働かせて、旺盛に努力をすること。

⑤ 自らの忍耐が相手を動かす力になることを自覚すること。

以上の話を総括すれば、自分を磨くことが大切だと言言で言えるかもしれません。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

① 新聞や友人の話題から、好奇心や興味がわいてきた課題や話には、それを教えてくれる本を読むことが第一と思いますので、読書が重要、大切です。

② 後期高齢者の歳を迎えていますが、国際情勢に興味がありますので、読書を継続しています。

③ 興味がある国際情勢を得るために、BSドキュメンタリー番組、放送大学、英会話など、NHKTVで視聴しています。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

① 我々時代からみれば、現代はさらに国際的な環境や事象の急速な変化と変遷を余儀なくされ、進歩と調和が必要かつ必須だと思慮しています。

② 人生はいつまでも努力を重ねて生きるべきだという心情をもっています。

③ 生きることは「細く長く」過ごすものだとも考えております。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

楽しく生きることが人生かもしれません？

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

約60年前、潮陵高校は優秀な人材(学生)が入り乱れての競争時代で、当時を振り返れば、現役で2人の東大に入学し、一橋にも入学していますし、北大、商大をはじめ、各地の名門大学に入学しています。

その意味では、小樽の名門校として、学問への意欲が旺盛な学校でした。しかし、学問だけが全てではありません。多岐に渡る人間形成も育成された学校であったと記憶しています。

現在、時代は変わり、学問の競争だけではなく、社会に出て役立つであろう多岐に渡る人間性を磨く学校として活躍する人材を輩出していると思います。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

55～60年前の小樽は、家庭環境は必ずしも裕福でなく、生活も厳しい環境で、家では家父長制度が色濃く維持されていた時代ですので、子供たちは、今ほど自由で闊達な時代ではなく、難しい時代を生きていたように思われます。

このような社会環境、生活環境から育った私たちは、「いかに忍耐するか」、「いかに社会に出て行くか」、「忍耐する努力が必須であるか」、「学校へ行ける幸せとはなにか」・・・を学んでいたように推測いたします。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

- ① 第一に「夢をもつこと」。
- ② 「諦めない人生観をもつこと」。
- ③ 「学問にも、スポーツにも、習い事にも、努力し、持続する忍耐すること」。
- ④ 「交友をもち続けられる友人をもつよう素晴らしい友を見つけること」。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

- ① 日本の大学や専門学校だけが「学びの世界」ではなく、機会を捉えて、海外の学校に挑戦する勇気と情熱をもつことが肝要です。
- ② 特に、これからの世界、時代では、日本人は東南アジアとの交友がもっとも重要な時代ですので、21世紀の新しい世界を切り開くために、東南アジア(シンガポール、ミャンマー、インドネシア、ベトナムなどなど)の大学や専門学校に挑戦し、新しい時代の先駆者になることを期待します。
- ③ 世界は広く、誰でもが交友する時代になるであろう21世紀に、生きる力を育ててください。
- ④ 日本での大会社が全てではないのです。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

すでに「老境」の身になった年寄りが、今回のアンケートに挑戦して「好きな事」を自由奔放に書き留めた「メモ」ですので、皆さんに何か人生の力になることは無いかもしれませんが、75歳になった年寄りのわずかな経験話としてお聞き取りください。

今般、思い切って「メモ」話を送付いたしますのは、今年、2017年、私の手稲に住んでいる従兄妹の孫が潮陵高校に入学することになり、彼への贈る話として書き留めたことをご容赦ください。

■お名前

杉村 洋二 (53期・76歳・男)

■経歴

潮陵卒業後、慶應義塾大入学(工学部)。1963年三菱電機株入社。2000年定年退職、関連会社社長に就任。2007年退任、現在に至る。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

機械工学、外国語学習。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

多少役に立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

電気メーカーに於いてエレベータ、エスカレータ主体のビルシステム。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

設計、営業、管理職。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

日本を代表する事業を担当したこと。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

一般社会、公共事業にも関連する故、トラブルを起こした時、社会的責任が大きいということ。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

大きな失敗はない。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

社会の動き。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

後輩への助言を求められることがあるから。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

若い世代の人との交流。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

小樽を代表する高校の卒業生として、小樽や北海道を語ることがある。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

高2から親の転任で下宿することになった。他人の飯を食うということ。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

将来、どこに行っても、小樽潮陵を出たということに誇りを持つこと。将来の目標をしっかりと立てること。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

IT関連。環境ビジネス。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

卒業後 60 年近くなった今でも、在京の同期生は時々集まって、食事やゴルフをしている。高校は 3 年だけであるが、在校中に多くの友達をつくっていくことが、将来役に立つ。卒業すると、皆、離ればなれになるが、社会人になれば多業種交流ができ、勉強になる。

■お名前

玉置 一男 (53期・76歳・男)

■経歴

東京理科大学理学部応用化学科卒業(ノーベル賞の大村先生と時期が重なる年がありました。私は何をしていたんだろうか。)

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか?

薄層クロマトグラフィーでの研究。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか?

直接的に役立ったとは思われない。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか?

東洋製罐グループの製造業。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか?

最初開発部、のち工場建設責任者。

■問5. その職業の楽しさは何ですか?

新しい機械設備の推進。製造従業員とのコミュニケーション。

■問6. その職業のつらさは何ですか?

開発業務の苦労。クレーム対応。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか?

ある。言葉の大切さ。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか?

人間関係。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか?

公害・危険物・ビル管理・高圧ガス・消防設備・電気・・・生化学等。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか?

- ・工場建設に携わったこと
- ・健康の大切さのセミナーに参加して

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか?

上記資格のお陰で第二の人生、防災関係の仕事をしています。

また健康の大事さから、生化学からの栄養の取り方を学習。Dr.シャクリーの理念に共鳴し活動しています。ソートマンシップ。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか?

入学時火災があり、制服を汚して怒られたこと。悩んだ時代、友情あった仲間達(下駄をならして奴がくる・・・)。家業を継がず、上京を認めてくれた両親・・・感謝。優しかった追分先生。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか?

近く閉鎖の入船市場内に店舗があったので、近辺が子供の時の遊び場であった。食糧難だった戦後、身欠きにしんをかじりながらの劣等生で悪ガキだった小学時代、人情味あった先生に育てられた中学時代・・・楽しかった。湾内での素潜り・・・バフンウニ・アワビ。盛大だった盆踊り。浪曲・講談喰りながらの塾通い、歴史・考古学が好きだった小中時代。大雪の日一番乗りの登校・・・のち休校(こずかいさん?がお茶を)。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか?

- ・手を広げすぎないこと
- ・周りの意見に振り回されないこと

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか?

難しいですね、過去の流れを考えて。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

- ・好きな事・科目大切に
- ・今このひとときを、喜びを持って生きましょう。(シャクリー ソートマンシップ)
- ・町には不健康食品が溢れています。今からプロテイン(必須アミノ酸)・ビタミン・ミネラル等のサプリメントを。

■お名前

竹尾 昌己 (52期・77歳・男)

■経歴

1979年 日本青年会議所北海道地区協議会副会長、1990年 札幌市西区PTA連合会会長、2010年 札幌市円山動物園ボランティア会会長、2017年 札幌潮陵クラブ会長

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか?

大学で人間関係構築を学びました。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか?

会社内での人間関係、仕事上での人間関係がうまく行きました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

日立のグループ会社に就職し、定年まで勤務しました。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

営業→営業管理→取締役

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

達成感です。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

若い頃は営業力の未熟さ。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ある。ちょっとした事で友人と絶交したこと。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

同じ失敗を繰り返さないこと。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

動物園のガイドボランティアに必要な動物の解説を学んでいます。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

子供たちに、わかりやすくそして興味深く面白い解説をする為に学んでいます。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

もうすぐ80歳、体力はだんだんと衰えていくけれど、その分、心をどンドン輝かせていくことだと自分に言い聞かせています。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

創造力と行動力そして人間力を培われました。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

郷土愛を培われました。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

学校で勉強ができるだけでは社会で通用しなくなりました。社会に潜む課題を発見し解決していく創造力が問われる時代になったのです。その為には、未知のものに挑戦する決断力や幅広く仲間をつくっていく人間関係構築力が欠かせません。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

ベンチャー企業。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

よき友を見つけ、お互いに影響しあいながら、厳しく自分を磨いて欲しいと思います。若き鳳よ、未来に向かって大きく羽ばたけ!!

■お名前

清水川 洽二 (52期・77歳・男)

■経歴

S37年 北大工学部建築工学科卒業。(株)竹中工務店入社。作業所、技術研究所、ケニア、シンガポール、ドイツ 海外で18年間勤務。H19年 専務取締役、顧問を経て退職。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

北大工学部建築工学科にて広範囲な建築知識を得る。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

基礎的な知識の学びなので、きわめて役立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

建築施行技術者。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

国内作業所における施工管理。研究所にて地下施工技术の研究。海外作業所における施工管理。海外拠点マネジメント。会社全体の経営管理。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

高校、大学を通じ、竹中の施工技术に憧れ(東京タワー、日活、国際会館の潜函工法)入社。その思いがけない、楽しく働くことができた。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

時間的に厳しい時もあったが、楽しさ(目標を達成した時の)がまさっていた。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

細かな失敗はあったかも知れないが、常に前向きにとらえてきたので、思いあたる失敗はなかった。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

英語。毎朝6:30からNHKラジオ“基礎英語3”、6:45から“ラジオ英会話”、NHKテレビ“おとなの基礎英語”を聴いている。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

海外の友人とのコミュニケーション。又いついかなる時、海外の人と会話しなければならない時のために。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

水彩画。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

同じレベルの価値判断をもつ仲間をもったこと。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

子供時代(大学卒まで)、心の形成を育んだ場所。まさに、心のふるさと。船に例えれば、心の母港。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

なるべく早い時期から、将来何をやりたいか、そのためには、どのようなコースを選ぶか目標を決める。給与とか地位とかに惑わされることなく。その道のスペシャリストになることをめざしてほしい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

やはりIT関連の仕事が増えてくるのでは？

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

他人のことは気にせず、己の信念を貫け！スマートフォンとか、便利な道具が多くなったが、心の会話が希薄になっている。目と目を合わせ会話し、心を通じ合うことが大切。これからは“心の時代”。

■お名前

内山邦昭 (52期・78歳・男)

■経歴

S14. 太平洋戦争開戦直前生れ。グラマンP-51ムスタングが頭上を飛び、住吉神社裏山防空壕へ祖母と歩いた。歩きが遅いので、防空壕は一杯、裏山林の間から飛行機を眺めていた。S21.小1。小5時鉱石ラジオに興味持ち、中学時自作真空管ラジオで世界中を聞き受信証収集。工学部に入れず、商学部へ。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

学生時代、アマチュア無線で世界中(六大陸・南極)と交信した。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

北海道にいたく大会社希望、丁度不況にて果たせず、小会社入社。4か月で本社が丸の内へ、第一陣転勤。経理希望し果たせたが、電子計算機時代前夜、無線が縁で情報システム担当へ。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

会計と言う言葉しか知らず希望、配属されたが、整備されていなかった標準原価計算策定プロジェクトへ転属。新しい分野・仕組みを勉強・経験させて貰い、その後ゼロからの情報システムを担当させて貰った。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

入社時は、ソロバン・手回し式計算器・電動歯車計算機・デジタル計算器、一方電子計算機はバッチ方式からリアルタイム方式へ。グループ内全国オンラインシステム化に従事。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

未知分野へ挑戦の連続と、世の中は右肩上がり時代、苦勞の連続だが楽しい思い出。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

若い人、昼夜を問わぬ挑戦をしてくれるが、労働環境向上に腐心。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

アマチュア無線友人・父上のお陰で結婚出来たが、妻30歳時、休日外出先で受けた注射によるC型肝炎ウイルス感染にて、教科書通りの40年後70歳時肝硬変にて失った。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

人間、次の瞬間何に遭遇するか判らないのが人生、一瞬一瞬を大事にすること。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

仕事の延長線上楽しみになったビデオ映像作品制作、関東での生活から北海道には無い古い時代からの歴史を辿る事。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

仕事で、光デジタル回線利用のテレビ会議システム策定に従事、動画編集の面白さを知る。又、住んでいる環境の身近に、江戸時代を知る痕跡があり、追及する事が趣味となった。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

妻とは、いろいろな所へ車で行ったが、「出雲大社へ行ってない」との言葉が耳に残り、妻が残した愛犬と車で訪れる事。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

良き友人を得た事、仕事上関東でも「潮陵」を知っている方々にお会い出来た事。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

終戦後すぐの小学校時、港で米軍将校と一本の丸太の上で隣り合わせに座り、一方的に英語で話され、話された内容はほぼ感覚的に判ったが、応えが出来ず、その後の発奮となった事。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

真実一路がモットー、一瞬一瞬何が起こるか判らないのが人生、でも必ず解決策は出て来ると信じている事。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

興味を持ったら、追及のみ。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

右肩上がりしか経験していないが、フラットでも必ず興味を持てる事があるはず、追及。

■お名前

野田 徹 (51期・78歳・男)

■経歴

昭和32年に潮陵卒業。法政大学を36年に卒業し、その後、映画業界に身を投じ、以来56年間記録映画一筋にやって来ましたが、平成29年4月をもって退職します。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

経済学

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

ちっとも。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

記録映画監督

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

新幹線や高速道路、原子力船「むつ」などの記録映画制作

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

何年もかかって撮影した物が完成した時。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

トンネル工事などでズブヌレになったが、つらくなかった。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

最後まで完成させることができなかつたことがある。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

ていねいな打合せが大事であること。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

身体が動く間はボクシングジムにかよいたい。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

多くの友人ができた。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

親のありがたみを知った事。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

知力、気力、体力に気を使う事。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

町内会のお手伝い。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

人間にホレル事。異性でも同性でも。

■お名前

三国谷 保広 (51期・78歳・男)

■経歴

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

法学部(北大)

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

イエス

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

販売・営業、企画、経営相談

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

子会社の経営

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

人の和です。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

「人の和」の難しさです。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

上司とのケンカです。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

上司は自分の意志で選べないことです。上司をいかに使うかを学びました。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

社会保険業務士の仕事です。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

人事管理の大切さです。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

麻雀、温泉、旅です。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

楽しい人間関係が出来、人生を楽観的に過すことで、幸せを感じています。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

子供の頃は、大変苦しい生活をしていましたので、今、役立っています。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

自分の人生を楽しく過ごす為、今、努力して下さい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

福祉・医療関係と農業

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

健康で、楽しい人生を送って下さい。

■お名前

すみれ (50期・79歳・女)

■経歴

昭和31年に潮陵を卒業。小樽の銀行に8年勤務後結婚、2児を授く。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

昭和31年銀行に。8年間。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

庶務係。銀行の諸経費、給与計算、社会保険関連。一般の会社と同じ様な仕事をしました。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

チームワーク。上司、同僚に恵まれることでもあります。専任を持って仕事をする事。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

仕事が多範囲すぎ配慮が足りなかったり、若さで常識の無い事もあり、後年、あの時はと反省したこともありました。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

卒業後、各職業分野の方に(医者、建築士、銀行員)参考意見をお聞きしたり、お世話様になりました。現在はお互いに健康を気遣っております。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

父母、祖父母、姉弟、一家団らの生活はかけがえのないものです。四季の小樽を想い、古里です。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

甘えられる時に、家族に大いに甘えて欲しい。社会に出ると、総てに甘える事は出来ません。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

80歳、趣味を充実させて、気持ちよく生きる事が仕事と言えるでしょうか。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

小さな事、大きな事とありますが、何事も自分で納得出来る 事が大事ではと思っています。私の世代では考えてもいなかった世界、特に女性(恋愛、結婚、仕事、子育て)があります。羽ばたいて欲しいと思います。

■お名前

- (49期・80歳・男)

■経歴

慶応大学医学部卒業、同 大学院卒業、(米)スタンフォード大学研究生、消化器科開業。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

学生中、英会話学校に通っていました。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

国際学会でも友人、知人ができました。結果、アメリカに招へいされて豊富な研究費の恩恵にあつまり、子供達にアメリカの学校生活を経験させることが出来ました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

医者

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

手術をして、とった臓器を顕微鏡で検査していました。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

研究は面白く、新しい事象の解明は楽しかったです。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

助けられなかった時は、つらいです。でも、家族に感謝されるよう努めました。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

研究で予想と違う結果にあうことは、何回もありました。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

他の人と同じ失敗・結果にあわないように、装置を改善したり、方法を変える工夫をしていました。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

科学はどんどん進んでいるので、勉強が追いつかない。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

私共の業績・仕事は過去形になってしまいました。若い方々のお仕事・研究を直接聴き教わり、研究会で感激しています。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

家庭を守り、子供達を育ててくれた妻に感謝して、齢80になった今から不徳のばんかいに心掛ける「つもり」です。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

佐藤春夫先生の漢文、西島バネ先生のユークリット幾何は楽しみで、一生懸命勉強しました。優秀なクラスメートも沢山いて、志望校にむけて頑張っていたので、刺激を受けていました。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

私共が住んでいた時の様子と、今、TVで映る小樽の変化をみて、時の流れと変化を考える意義を考えています。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

友達は財産です。良い友人を沢山つくって下さい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

宇宙から分子生物・工学の進歩はすばらしいですが、どんなにITが発達しても、人間関係は更に大切な仕事になるでしょう。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

健康に気をつけて頑張ってください。潮陵健児と言っていました。国際化がすすんでも「日本の心」を忘れないで下さい。

■お名前

高野 真一 (49期・81歳・男)

■経歴

小樽生まれ、育ち。稲穂小→東山中学→潮陵高校→小樽商科大学卒業。純粋の浜っ子。海外に憧れる。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

小学4年生(昭和21年)から英語を学ぶ。大学に入り、第二外国語として西語も学ぶ。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

大変役に立ちました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

海外志望だったので、総合商社を選択した。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

輸出・入の貿易担当に配属になる。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

海外情勢を知り、貿易を通じて日本の発展に少しでも貢献できた事です。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

海外駐在時、外国より日本を馬鹿にされた時。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

特別な失敗はないが、大手企業は学閥が強く、評価が公平ではない。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

企業内での評価は、先ずは実績を上げる事である。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

趣味を習う事で人生の楽しみを増す事。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

人格形成と人間性向上の為。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

80歳となり、ゴルフを除き趣味の勉強は終りとなりました。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

潮陵は戦前より大学を目指す生徒が多く、優秀な生徒が大勢いた様です。より高度な大学に入るべく、小樽一番の潮陵を選んだ。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

生まれ故郷に商科系の有名な大学があったことは幸いしましたが、反面、内地の大学を受けさせて貰えなかったのは少々残念。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

潮陵は昔から内地の有名校に比べ相対的に偏差値が低いですが、学習内容を代える事で対等に受験出来る故、学校に要望すべきでしょう。

クラーク博士のお言葉の通り“Boys, be ambitious”です。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

高校は大学に入るone step故、教育内容の良質を早急に改善すべきではないでしょうか。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

潮陵は、古くから名門校であり、大学の進学率も常に上位にありましたので、これからも増々の発展を切に期待します。東京や大阪等の大都市の高校に負けない様に、授業の質向上に励んで下さい。

■お名前

大谷 秀雄 (48期・82歳・男)

■経歴

1. ニューヨークにあるアメリカの商社に入社。当時のトップ企業、GE, IBM, デュポン、ダウケミカルなどの製品を、日本の電機メーカー、造船会社などへの導入を図る。(24歳より)
2. アメリカ製品の輸入総代理権と共に、日本の商社にスカウトされる。(35歳より) 日本とアメリカ、ヨーロッパの生活が半々になる。
3. 全米包装機械工業会会長、日本の一部上場食品会社トップなどのバックアップで、日本にダイナミクス社を設立して、世界各国包装機械トップメーカーなどの日本総代理店としての活動を開始する。(49歳より)
4. 3年連続で、世界64カ国中第一位の販売実績を達成する。(1993年より)
5. 現在に至る

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

潮陵高校から立教大学に進み、経済や英語をマスターしました。現在、国際語は英語であるため、世界に出るための必須条件です。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

現在、国際語は英語であるため、世界でどんな仕事をする場合にも、必須条件になります。40ヶ国以上を飛びまわり、24時間、外国人との仕事経験により、海外で通用する人間になることが出来ます。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

1. 機械関係の輸出、輸入など商社マン。
2. 日本全国、全ての43県に、販売代理店設置して、マーケティング活動により、市場攻略をした。
3. 世界60カ国以上に人脈を形成して、常に海外との交流を維持して、仕事に生かした。
4. 若い世代の人材育成、新しいプロジェクトの構築、手段などの提供などで、上場へのお手伝いをした。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

1. 職業を選択する場合には、まず、3つの要素を考える。即ち、自分がその業務が好きである事、それが得意で、誰にも負けない事、それが、社会のためになる事であること。この3要素なしには他からのヘルプも得られないでしょう。
2. 何かを達成するには、最低10年はかかります。そのため、手段、方法、タイムスケジュールを構築して、24時間努力する。可能性が60%あったら、あとは自分の力で100%にする事です。

3. 人間の能力は、人間関係の質と量に比例します。サラリーマンであっても、自分の業務で、まずは、会社で一番になる事、次には、業界で一番になる事、そうすると日本のトップレベルから声がかかるようになるわけです。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

60年間、チャレンジの連続でした。そして、10～30年かかって達成した喜びは格別で、その結果、悔のない人生になることでしょう。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

万策尽きて、死んだ方が楽と思うことは何回もあります。しかし、死ぬより、生きることのほうが、何倍も大変で、それを乗り越えた時にはじめて成功が得られると思っています。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ありますが、失敗ではなく、良い経験であったと考えております。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

運動と、食事、睡眠の3条件で、生活習慣病を減らして、医療費の削減に貢献したい。

人間には、食べる事と眠る事には本能がありますが、運動だけは、ある程度の自己努力が必要になります。

運動は、毎日出来る運動が重要です。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

病気をしない身体にしたい。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

今まで40年間で得られた経験と人脈を生かして、海外と日本の関係を充実させる事。

facebook投稿も参照してください。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

やはり、日本の将来に関係する事がやりたい。世界を飛び回る仕事がしたいきっかけが得られました。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

やはり、冬のスポーツ、スキーでしょうね。2歳位から、スキーをはいていました。子供の頃には、自分で竹スキーを作ったり、学校への登校はスキーであったのでした。

■問14. 在校生に伝えたい事はありますか？

何事にも、チャレンジすることがすべてに通じます。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

ハードではなく、ソフト(利用価値、社会科学など)の仕事が大半になるでしょう。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

是非、少なくとも、北海道でNo. 1の高校になってください！

■お名前

宮本 和明 (47期・83歳・男)

■経歴

大学院を終了後、機械製造会社へ。総務部で総務関係品購入と経営企画立案。生産管理部で製造部の生産管理と資材管理、協力会社の経営管理と指導、経営企画部で経営管理を行う。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

在学中、国際法のSpace Lawの研究。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

事象を俯瞰的に複眼的に大局的に観察する考察力を学び、企画立案にその片鱗を活かす。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

企画立案と法務。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

前例に拘らない新規の企画立案と対立する社内外法務の調整。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

新規の企画立案が社内全般に採用される喜び。企業の法務関係者で構成されている社外法務研究会での発表と論戦、小生は埋没したが、多士済々、東大(特に、Harvardで修士号、Oxfordで最優等賞の修士号を得た女性)や京大をはじめとする出身者との交流、何人かは、その後、国立の大学院で教鞭を振るう。現在も交流は継続。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

力量不足以外の企画立案の理不尽な不採用。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

失敗は数知れず。恥ずかしご勘弁を。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

屈辱を棄て、負けるもんか。男が磨るぞ、負けるもんかと唱えて、雌伏と次なる挑戦の機会を窺うバネ得たと観念する。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

「宮中歌会始の選者のおじ」にはほど遠い悲しい短歌の真似事と俳句、短詩の真似事。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

教養の一端として、便りの中や末尾に華を添えるに良い。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

齢、八十路を越えた今、万葉集に再チャレンジ中と各地に有るおじの未訪問の残り13歌碑を訪ねる旅を再開したい。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

懐かしき青春の永遠の一コマの映像のみ。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

四季の小樽湾と天狗山から旺盛な開拓精神、進取の気性、努力と自助を父母の教えと共に満分の一かは得たか。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

未来の栄光は君たちの努力と自助に基礎を据え、旺盛な開拓魂、進取の気性が齎す。神は裏切らない。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

ご参考までに。必要不可欠な仕事を成し遂げるためには基礎が大切。高校の勉強は基礎に過ぎない。常に90点以上の得点を目指せ。神は援助を惜しまない。70点では30%が理解されていないということ。因みに孫の一人は早稲田の大学までは保証され生涯受験競争はない。早稲田は、初等部入学の際、基礎の大切さを明言、初等部、中等部、高等部、大学までの勉強は基礎。人生基礎の積み重ね、基礎の上に大輪の花と実が君たちの未来に栄光齎す。

■お名前

菅野(藤川)五百子 (47期・82歳・女)

■経歴

私は、小学校4年生の時に父が北電に勤めて居りましたが当時肺結核で亡くなり、5人兄妹の末っ子でしたので、私より上の兄妹は上の学校に行かれましたが、私だけが上の学校に行く事が出来ず、当時長兄が東京に居りましたので頼って上京し、東京電力を受験(紹介で)し入社する事が出来ました。7年間勤務致しました。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

高卒ですので別にありません。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

東京電力(株)多摩支店 料金課 事務

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

家庭の電力料金の計算等です。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

別になし(タイプライターを打っていたことかしら?)

■問6. その職業のつらさは何ですか？

別になし

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

記憶にはありません。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

書道、絵手紙

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

手先の運動、脳の活性化

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

もうありません。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

日本全国、外国でも小樽中学を母校に持つ方で社会的に偉くなられた方にニューヨークでお会いした事があります。私は潮陵ですが、樽中出身の方でした。驚いた記憶があります。私はその時、すごいと思った事でした。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

現在小樽は観光地になり、当時から小樽を誇りに思っています。それで平成6年に家を、母校近くのマンションを求め、毎夏、小樽で過ごして居ります。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

長い伝統に誇りを持って下さい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

なし

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

長い伝統に培われた学校です。皆様もこの学校の生徒である事に自信を持って、将来に向かってお進み下さい。

■お名前

中山茂博 (46期 高3の2学期に札幌北高校より転校・83歳・男)

■経歴

卒業したのは昭和27年。家庭の事情で大学へは行けず、即就職。就職先は証券会社でした。未だ将来への希望がなく、不安にかられた日々をおくったものでした。しかし、小樽商大の短期大学部が卒業年度に出来たので、仕事と学業に未来を委ねた青春時代が今は懐かしく想われます。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

夜間大学でしたが、職業に必要な事を学ぶことが出来、大変楽しかった。主に証券市場論、経済学、会計学でした。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

以上に述べました通り、非常に役に立ち、苦しかった仕事を何とかのりきれることが出来ました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

証券会社、旅行会社、銀行関連会社、建設販売会社、リース会社、医療機器販売会社等。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

最初は経理でしたが、営業を希望して退職まで営業一筋に働いてきました。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

世界の動きが己の考え方と比較して正しかった時、それが、仕事と繋がっていくことが楽しかった。又、人と接する事によって、人の欲の限界を知る事にふれ、それを教訓とした。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

職場内の人間関係。特に妬みと孤立した時ですね。それを助けてくれるのは、他に自分の趣味を持つことです。言いかえれば、仕事とは別の世界を持つことでした。私の場合は、詩吟、尺八、書道等です。現在は書道だけです。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

人はよく失敗しますが、これは貴重な経験とも言えるのです。世の中には一度つまづいた人を差別する傾向がありますが、己は、失敗を糧として前進する勇気を持たねばなりません。孤独に勝てる何かを持つように考えましょう。私は持っていた。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

失敗は成功の果なり、財産なりと言う事を知りましたし、人に語れる事が出来る。他人の成功した事など喜んで聞く人はいないと言う事です。欠点がある人には友達が集まってきます。色々な笑い話にしてはどうですか。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

書道を通して、人の歩んできた長い長い人生の粋を教わった気がして、非常に楽しい。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

一芸に秀でていると言う事は、その人の人生の糧になる。又、なって来た。誰にでも必ずあるはずです。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

兎に角、健康でなければ全てが叶えられません。結婚する女性は人の健康に気を使う思いやりのある方、金は無くても愛を確約出来る人に出会うことですね。そして、退職したらパートナーを助けて家事に手を出したらどうですか。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

当時の潮陵は進学校として、道内では5本の指に入っていた気がします。すばらしい先生にもお会い出来、友達もたくさん出来て楽しかったと思っております。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

当時は、小樽は商業の町として活況を呈しておった気がします。その後、急速に衰退していったようで、27歳の時に内地(本州方面)に転勤をしてから、帰れない故郷を心配の目でみておりました。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

希望がないのが逆に未知の世界へのチャレンジとして、思い切った営業が出来た。ちっぽけな事に囚われず、社会の為に会社の為、家族の為に一生を捧げる気構えが必要でなかろうか。出世することに汲々することなく、仕事に打ち込むことだと思います。幸福は、地位や名誉ではない。健康です。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

日本の人口は減少の傾向にあり、労働力では解決出来ない事が多くなります。創造的能力を持って、新しい社会構造の変革を伴う仕事等を通して社会に貢献することだと思います。何が良いとかは社会が教えてくれるはずだ。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

蛮勇を持って社会に挑戦してはどうか。知恵は行動によってのみ生じ、絶えず止まる事なく、時々反省をしながら明日の第一歩をすすめてはどうか。偉そうな事を言って、ご免なさい。

■お名前

工藤 孝友 (46期・85歳・男)

■経歴

樽中・潮陵高校時代はラグビー部(スクラムハーフ)。大学卒業後、現北洋銀行に入社。20年勤務後脱サラ、(株)源太を設立、代表取締役となり全国初のあわび料理専門店をススキノで開業。以来、35年間営業。当初より目標の東京銀座に移転し、息子に2代目をゆずり会長となり銀座で10年。現在は札幌に居住し、時折り銀座に出向く。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

銀行に入社が決まって、当時はソロバンを勉強しなおした。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

大変業務に役立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

銀行員、会社経営者、(本の出版、CD作製、書等自主出版)、料理人、鮑の真珠の研究発明(一枚貝の真円真珠)

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

銀行での業務はすべてマスターしたが、特に貸付業務(融資担当及び管理職)を20年勤務中10年以上やった。(株)源太設立後は、経営及び業務全般。板前までマスター(和食料理人)。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

各業界の方々や老若男女、普段仲々お会い出来ない方も身近に親しく話しが出来て、人脈が沢山出来たこと。(出会いは尊き絆なり)

■問6. その職業のつらさは何ですか？

責任、信用を守ること。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

85歳まで生きると、沢山ある。しかし、失敗を決して恐れてはいけない。

失敗は誰にもある。①信頼 ②嫉み ③裏切り

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

(二兎追うものは一兎をも得ず)と言うことわざを実感した。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

書をたしなみ(書道)、詩を読む(俳句等)

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

自分の人生を正しい考えで生き抜くため。人様に感動と満足と喜びを与えられる人間になりたい為。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

人の喜びを我が喜びとなせ。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

質実剛健にして文武両道に優れ、友との絆は堅く誇りあり、悔いなき青春を育ててくれた学校。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

衣、食、住、自然に恵まれた。特に、海産物、魚介類は、食にたずさわる者には味覚を育ててもらった故郷である。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

伝統と誇りを重んじ、正しく生きる。根性を持って!!

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

人様に感謝される仕事。満足、幸せを与えてあげられる様に。そして、自己に胸を張って誇れる様な仕事を望む。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

勇気、信念、自信を持って突き進め。
頑張れば、何でも出来る。(進取敢行)

■お名前

中山 条爾 (46期・83歳・男)

■経歴

大学卒業後、商社会社勤務。貿易業務のため、フィリピン、香港、台湾に駐在。定年直前はパルプ製造会社に勤務。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

英語に関心あったので、一生懸命に勉強した。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

適当に役立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

商社会社勤務。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

日本製品の輸出業務。JETROが盛んな時代。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

英語が役立った。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

大学以降は、小樽を離れた。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

興味ある学科を持って。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

地球のどこの国でも仕事あり。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

若いうちに見聞をひろめて下さい。

■お名前

本間 佳 (46期・85歳・男)

■経歴

潮陵高校 昭和27年(1952年)に卒業。学習院大学を昭和32年に卒業。現みずほ証券に入社。法人業務を経て、ドイツ、フランス、アメリカに赴任。国際業務を担当。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

経済学部で金融制度論を学ぶ。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

学んだ学問と職業が一致して大いに役立ちました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

証券会社でコーポレートファイナンス。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

企業が必要とする資金を、株式・社債の発行で調達を手助けする仕事。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

日本経済・企業の発展に役立っていることの楽しさです。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

他証券会社との競争に負けないことです。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

大きな失敗はありません。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

特にありません。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

健康の維持。病気で国に負担を掛けないこと。母校・郷里を大切に思う気持ちを持ち続けること。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

人道を教わったことです。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

小樽が繁栄した時代の記憶があり、誇りを持てたこと。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

愛国心と郷土愛と母校愛。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

もう超高齢にさしかかっていますので、せめて昭和一代生まれの生き様を残すこと。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

クラーク先生の言葉「大志を抱け」です。

■お名前

川越 重義 (46期・85歳・男)

■経歴

小学校卒業後、庁立小樽中学(旧制)に入学し、3年生の時、学制改革により庁立小樽高等学校となり、その後、道立小樽潮陵高校となって、通算6年間在学し、大学に進学。中3の時、新校章の図案募集があり、小生の作品が入選し正式校章として採用された(現在の校章)。高校時代は生徒会役員として活躍。又、在樽の男声合唱団に入り、道代表として全国コンクールに二度出場した。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

大学では法律を専攻した。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

役に立った。契約、交渉、人間関係等、どんな仕事にも法律はついて廻る。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

在京の大手製薬会社に勤務、営業部門に携わる。静岡、名古屋、広島支店長を経て、本社部長、役員に就任。定年後は関係子会社の経営に当たる。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

営業部門では、病院や薬局に自社製品の学術的PRや採用依頼活動を行い、又、卸売業者に対して自社品の取り扱いの拡大について働きかけを行う。

管理職になってからは、部門統括、人事管理等。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

自分の努力で自社の製品が病院や薬局に採用され、多くの患者の役に立った時。

又、それにより、会社の業績向上に貢献出来た時。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

他社との競争に負けて、シェアを落とした時など。又、夜討ち朝駆け等、時間外労働はどんな企業でも営業部門にはつきものであるが…。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

無い。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

趣味を兼ねて俳句、水墨画をやっている。俳句は所属結社の同人。水墨画では国際書画連盟評議員になっている。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

少しは精神修養の糧になるかと思って。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

人生の残りが少なくなって来ているので、特に計画していることは無いが、健康で楽しい余生を送りたいと思っている。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

戦後間もない時代、それまでの戦時教育から自由で開放的な教育に変わり、教師も生徒も戸惑いながら協力して校風を築いたことは、多感な時期の人間形成に大きな影響を与えた。又、6年間の在学で先輩、同期、後輩に多くの知己を得たことは財産となった。加えて、名門伝統校としての知名度により、潮陵出身者の評価は高く、その誇りと共に、その後の人生行路に大きなプラスとなった。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

戦中、戦後の厳しい時代に育った者として、小樽人の人情の厚さは忘れ難いものがある。高校、大学と青春時代を伸びやかに楽しく過ごせたのも、小樽独特の風土と環境のお陰と思っている。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

嘗ては、大学進学率でも、スポーツでも(特に、ボート、スキー等)全国制覇をなしとげ、オリンピック選手を輩出して全国に名を馳せた母校であるだけに、最近の凋落？は残念である。在校生には大いに奮起して欲しいと思う。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

IT産業等が考えられるが、職業に貴賤は無い。どんな仕事でも自分の信念が固ければ、道は自ずと開ける。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

・希望は高く、強い意志でブレることなく、目的に向けて前進すること。

・潮陵の自由な気風を満喫するのは今しかありません。勉学に部活に、大いに青春を謳歌して欲しい。

■お名前

山田 宏 (45期・85歳・男)

■経歴

昭和29年国鉄札幌工務局入社。昭和35年静岡、東海道新幹線工事に従事。昭和39年東京に任務。いろいろな苦勞が勉強になった。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

2年浪人。社会で働くことは、大変な苦しさがある。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

頑張ること。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

人生生きてゆくには、目的、希望をもつこと。

■お名前

松橋 健司 (45期・85歳・男)

■経歴

卒業後、小樽商科大学卒。立教大学大学院修士課程卒(会社より派遣)。合同清酒(株)。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

柔道(1年目初段、2年目弐段、3年目参段、4年目四段)→「質実剛健」、卒業後六段(現在)
書道→文芸書道師範

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

1. 入社して人事課に配属(5年で係長、8年で課長)
2. 国体(第7回、第8回、第9回)に連続3回出場の栄を体験。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

人事管理、辞令書き→書道家(現在)

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

配置転換、人事考課、昇進制度の実施、柔道の都市対抗戦、国体選手(学生時代から)

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

昇進制度の実施により昇級者の喜び

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

無い

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

俳句、川柳、短歌の文芸書道のマニュアル(紙本)を平成6、7、8年に飯塚書店より出版(松橋巨山著)。大変勉強になりました。

最近、般若心経の日本語訳の清書、一字色紙の制作、出版(松橋詩占翁著、飯塚書店より紙本で5冊および電子本)。

4月に「般若心経の摘み(つまみ)解説の色紙50選(余)」出版(「22世紀アート」より)。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

書道から、日本語訳の摘み解説の出版。

般若心経のポケット版販売。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

般若心経の講習会(写経)

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

学生同士の交流、男女共学の第1期生(3ヶ月間)

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

小樽商大の地獄坂の昇降、健康体の保持、柔道(入社時に道場を50畳1場あずけられた)

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

質実剛健。文字は上手に書けるようになれ。

—文武両道—

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

智恵を働かせる職業。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

自家を持ったら自室を作れ(趣味を生かせる部屋)→例:書道部屋12畳位の広さ

■お名前

— (44期・86歳・男)

■経歴

共同石油(現、JXエナジー)から子会社を転職(2社)、67歳で退職後、現在に至る。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

良く学び、良く遊んだ(良友に恵まれ)。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

役立ったと思っている。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

石油関係(理系)。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

安全関係に強かったと思う。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

人間関係。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

特になかったと思う。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

数々有るが、それが糧となって成長してきた。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

めげない事(潮陵時代の良友のおかげと思う。)

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

仕事に関した事では特になし。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

なし。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

文武両道それぞれに良友有った事。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

雪国の自然に対する忍耐。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

立派に育って、世の中に役立って貰いたい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

なし。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

とにかかくにも文武に頑張って(どの道に進んでも)良友と交わる事。

■お名前

山口 保 (43期・88歳・男)

■経歴

第二高等学校、東大経済学部、東京銀行、独、英、ブラジル、米に勤務。東京銀行副頭取、米国ユニオンバンク会長。

小樽中学五年のとき応援団長(その年、ボート部、スキー部がインターハイで全国制覇した)。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

海軍予科兵学校在学中に終戦。小樽の両親のもとに帰り、小樽中学三年編入を希望した。しかし、軍関係の学校からの転入を制限しようとする占領軍(米軍)の指示を受けた小樽中学に転入を拒否されたので、英、独、仏 個人教授につく。(その後、昭和21年後期にやっと編入が認められた。)

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

海外勤務を指向したので、海外在勤約23年に大いに役に立った。樽中では五年の時、量子力学を学んだが、大学入試の時、故郷古平大火の為、文転。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

国際業務、為替業務

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

外国語。現在も中国語継続。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

日本語を更に理解する為。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

特になし。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

終戦後三年のみの小樽生活でしたので、小樽高商の三人の教師に習った外国語。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

1. 目標をしっかり持つ事。
2. 本を読む事。
3. 海外に出かける事。

■お名前

勝田 晴夫 (42期・87歳・男)

■経歴

花園小学校、小樽中学校、北海道帝国大学医学部。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

医師国家試験(インターン)。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

各科(内科、外科、耳鼻咽喉科、その他)すごく役立ち、その後の人生にも大いに役立った。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

医師、耳鼻科。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

医院の耳鼻科で、耳、鼻、のど等の病気でよごれたのをもと通りにする。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

人のくるしみをなくし元気にする。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

多くの人を使用し、協力して仕事をする上で色々と苦しみ、泣きたいことetc.多くありましたが、今思えばいい思い出となり、よろこんでおるこの頃です。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ない。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

なし。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

なるべく100歳まで長生きしようと思っている。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

毎日毎日が力をわかす。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

私の姉も元気でいますが、出来れば一緒に長く住みたいと思います。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

小樽は素晴らしい土地です。自信を持って、力をつけて、良い人生を送って下さい。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

医師、弁護士、建築士etc.

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

若い時に力をつけて、自分の人生に花を咲かせよう。ボーイズビーアンビシャス。

■お名前

— (40期・89歳・男)

■経歴

昭和23年小樽経専卒業後、製糖会社(本社帯広、昭和35年東京へ移転)入社。経理課員として北海道内の本社、支社、製糖工場など5ヶ所で勤務した後、昭和39年東京本社へ転勤。経理課長、企画部次長などを経由して昭和55年から62年まで経理部長を務めて退職後、平成9年まで監査役を務めて退任し、69歳で自由の身となった。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

受験会社の概要を調べた。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

入社口頭試験に役立ったと思う。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

事務職員(製糖会社)

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

経理課員として金銭や帳面の管理

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

高成績で決算がすんだとき

■問6. その職業のつらさは何ですか？

特につらさを感じた事はなかったと思う。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

ない。自分では気が付かなかった？

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

ない。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

ない。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

憧れの樽中生だった事をいつも忘れず、頑張れたと思います。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

多くの坂道を歩き廻り、足腰が丈夫になった？

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

先生を敬うと同時に、親しくなりますよう。

友人も沢山、仲良くね。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

穏やかで、幸せな人生でありますように。

■お名前

亀 昌治 (39期・92歳・男)

■経歴

潮陵を卒業後、北大予科、大学。大学を昭和23年卒業。日本油脂(株)に就職する。在学中から本州の化学会社につとめたいと思っていました。

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

大学では農芸化学科に入り、有用細菌を利用する。特に汚泥の多いドブや湖沼などから見つけて水の清浄化に役立つ菌を探す。

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

全く類似した仕事していませんでしたが。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

研究室に入り、当地工場に残っていたものを利用する。油脂工場では戦後すぐには油脂の原料が少なく、利用されていない機械類が多く、これを再利用する仕事を見つける。

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

油脂の工場にあった余分の油脂分解残などを利用して、澱粉の入っていた未利用の植物を利用することを最初にしました。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

会社では新しい産業の開発をしていましたので、澱粉の入った農作物からいろいろな分解物の利用、遊んでいた機械の利用。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

同時に入社した人にも全く経験のない農作物、例えば、山で拾ったドングリから澱粉をとり、飴類を作りました。あまり上等な飴は出来ませんでした。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

いろいろな失敗をしましたが、よい経験になりました。その時は苦しく感じましたが、長い人生ではそのことが役立つ日がある。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

失敗した理由はそれぞれあると思いますが、それが新しい仕事に必ず役立つと思うことです。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

とくにありません。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

もう92歳ですので、なんとか苦しまないであの世に行きたいです。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

どんなことでも、一生のうちに必ず役に立つことが多いと思いました。私は酒のみですが、酒は休息だけでなく、次の仕事に必ず利用出来る何かがあると思っています。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

生まれ故郷でしたので、友人も多く、ただ楽しいことだけをしていました。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

元気で年を忘れるようなことを、あそびごとよりいから、若いうちから見つける。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

どんな仕事についても、体が丈夫であれば、なんにでも挑戦出来るから、頑張って、少々の体力仕事でも出来るようにして下さい。

■お名前

千葉 誠一 (36期・94歳・男)

■経歴

室蘭工専、海軍予備学生 海軍中尉、北海道炭砒汽船、雇用促進事業団総合高等職業訓練校

■問1. 職業に就く前に、どんな学びをしましたか？

理工系機械科

■問2. その学びは、職業に役立ちましたか？

役立ちました。

■問3. あなたは、どんな職業に就きましたか？

炭砒機械職員、総合高等職業訓練校校長

■問4. 具体的にどんな業務や作業ですか？

炭砒では機械系統の管理、保守。訓練校では職業訓練に関する業務管理。

■問5. その職業の楽しさは何ですか？

石炭はその当時日本の原動力で、生産に力を入れた。職業は大事なもので、その大切さを教える喜び。

■問6. その職業のつらさは何ですか？

当時組合運動が盛んであり、強かった。その幹部との交渉に苦労した。

■問7. 仕事や人生で失敗の経験はありますか？

私は世間知らずの我儘で育ったため、人との付き合いが下手で苦労した。特に女性について知識が全くなかった。

■問8. 失敗の経験から何を学びましたか？

何事も根本が大事。幼児教育がいかに大事か。小さい時から自主精神の涵養を覚った。

■問9. 途中や現在も学んでいる事がありますか？

大いに覚めて過去の失敗を振りかえる毎日である。しかし前に進む為め、健康、世界情勢、日本国内政治等 関心有ります。

■問10. それは、どんな理由で学びましたか？

生きる為めには、好奇心が大事。どんどん知識を得て、身心共に活動的でありたい。

■問11. これからの生き方で計画している事がありますか？

計画は山程有るが、体がついて行かない。90代はしんどい。しかし、一步一步でも前進する様、計画している。計画の中には私の好きな油絵やDVD、読書、軽いウォーキング、スポーツ(輪投げ)等があります。

■問12. あなたにとって潮陵は今考えると、どんな役に立った事がありましたか？

素晴らしい学校だった。しかし時代が軍国時代、実に暗かった。樽中は素晴らしい教官が多く、大変有難かった。只、私は充分生かせなかった。

■問13. あなたにとって小樽での生活はどんな役に立った事がありましたか？

小樽は不思議な雰囲気のある街である。坂の街、雪の町。幼児の思い出は鮮明である。

■問14. 在校生に伝えたい事は何ですか？

生きるために、どんな職業が自分に大事か、早く見つけてほしい。これは、何も知らない若者にとってムリかも知れない。ここに本当の教育の意味がある。具体的には本を読み、それも良い本をだ。自立を望むならそれしかない。本は心の栄養である。

■問15. これから、どんな仕事の可能性があるとお考えですか？

仕事はしない。ボランティアはやっています。

■問16. 在校生に、応援の言葉がありましたら、自由にお書きください。

一刻も早く自立の道を見つけてほしい。

自分を客観的に見れる人になれと言いたい。

先ず自己を知り、他を知れば、百戦負けることなし。人生落ち込んだら、心をふるい立たせる本を読んで、心の栄養を太らせてほしい。

青春はアツと言う間に失くなる。貴重なひととき、ムダにしないでほしい。前進あるのみ。

第 61 回定時総会及び新会員歓迎会開催報告

第 61 回定時総会及び新会員歓迎会は、好天に恵まれた平成 29 年 6 月 3 日(土)に、青山のアイビーホールで開催されました。45 期から 105 期まで、初参加者 3 名を含む 43 名が参集しました。また、今回は、当会の創立 60 周年にあたることより、北海道から応援団 OB も駆けつけてくれました。

第 1 部の定時総会は、14 時より岸田仁事務局長(67 期)の司会で開始され、冒頭、昨年の総会以降にご逝去の連絡をいただいた 35 名の同窓生のご冥福をお祈りし、黙祷が行われました。佐々島宏会長(65 期)からの開会の挨拶に続いて、総会議長に今日出夫副会長(67 期)を選出し、第 60 回事業年度事業報告と決算報告、会計監査報告、第 61 回事業年度計画案と予算案の審議が行われ、満場一致で承認されました。役員人事では、岸田仁事務局長の事務局長退任と副会長就任、南澤孝夫副会長(65 期)の副会長退任と事務局長就任、大浦辰次郎顧問(54 期)の顧問退任が承認されました。また、会則附則の改定が承認されました。

佐々島宏会長からは、母校を応援するための 60 周年記念事業について説明があり、①OB,OG の経験を在校生に伝えるためのアンケート調査では 60 名近い OB,OG から回答が寄せられたことより、これらを秋に発行予定の会報 60 周年記念号に掲載し、在校生への配布を予定していること、②OB,OG による母校への出前セミナーを計画していること、が報告されました。一方、これまで 60 周年記念事業として検討してきた潮陵ハウスの設立は本会単独では難しく、断念せざるを得ないこと、今後、潮陵倶楽部と連携し、母校の創立 120 周年事業として、あらためて検討していくことが報告され、佐々

島宏会長から来賓の潮陵倶楽部会長 西條文雪様(65 期)に答申書が手渡されました。

平成28年度【第60回事業年度】決算(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

科目	予算	実績		
		金額	金額/中計	合計
1 当期収入(A)	1,240,000			993,673
1.1 定常収入	750,000		512,621	
1.1.1 年会費	400,000	280,000		
1.1.2 寄付金	300,000	202,621		
1.1.3 広告代	20,000			
1.1.4 助成金	30,000	30,000		
1.2 事業収入	490,000		481,000	
1.2.1 総会	290,000	318,000		
1.2.2 忘年会	200,000	163,000		
1.3 その他収入			52	
1.3.1 受取利息	0	52		
2 当期支出(B)	1,677,000			1,147,673
2.1 ウェブ・会報	55,000		62,424	
2.1.1 ホーム・ページ	55,000			
サーバ関連	25,000	18,144		
HP更新	30,000	44,280		
2.2 事業	845,000		851,451	
2.2.1 総会	400,000			
宴会費	300,000	279,052		
講演・お土産他	100,000	62,648		
2.2.2 忘年会	160,000			
宴会費	160,000	216,000		
2.2.3 案内状作成費・他	285,000			
案内状作成費・他	65,000	72,620		
送料	220,000	221,131		
2.3 事務局関係費	197,000		48,798	
2.3.1 事務局費	27,000	4,810		
2.3.2 会議費	120,000	42,260		
2.3.3 雑費・予備費	50,000	1,728		
連携事業 (D)	580,000		185,000	
小樽事務局費	30,000			
会議費	120,000	60,000		
雑費・予備費	50,000			
OB・OG母校講演支援	180,000			
母校ポータル部寄付	50,000	75,000		
母校下宿状況調査費	100,000			
母校職員招待費	50,000	50,000		
当期予算収支差額(C) [(A)-(B)]	▲ 437,000			▲ 154,000
前期繰越額	1,024,741			1,024,741
次期繰越収支差額	587,741			870,741

第2部の新会員歓迎会・創立60周年記念祝賀会は、須永いづみさん(93期)と村上文一さん(99期)の司会でスタートしました。来賓の小樽潮陵高校校長 千葉浩次様からは、運動部の大活躍の様子と好調な進学実績が紹介され、文武両道の建学の精神は健在であることが報告されました。潮陵倶楽部会長 西條文雪様からは、潮陵倶楽部が母校支援事業として進めているニューゼaland ダニーデンへの短期語学留学を通して生徒が成長していく様子が報告されました。続いて、初参加の松田憲幸さん(64期)、石井輝さん(82期)、富永剛晴さん(96期)の自己紹介が行われ、来賓の札幌潮陵クラブ会長 竹尾昌己様(52期)の乾杯の御発声を受けて、同期を中心に集まったテーブルごとに歓談が行われました。

歓談の合間には、応援団OBの下中博文さん(65期)、高田和彦さん(67期)、大西正起さん(67期)の3名が、竹刀を片手に長ラン、学帽の出で立ちで現れ、ユーモアあふれた口上とともに、エール、校歌、第一応援歌、第一拍手、天狗の白雪、三連呼、祝勝歌による応援を披露し、大いに会を盛り上げてくれました。

来賓の東京小樽会会長 清水川洽二様(52期)のご挨拶の後、今年も、テーブルごとのチーム対抗による小樽・潮陵クイズが行われ、同窓生から寄贈された賞品の争奪戦が繰り広げられました。

楽しい時間もあっという間に過ぎて終了時刻の17時となり、恒例により出席者最年長の山田宏さん(45期)の音頭による三本締めと、出席者全員による記念撮影で閉会となりました。お土産には、中ノ目製菓の甘納豆と北海道ワインのおたるワイン小瓶(ナイヤガラ)を頂きました。応援団OBの大活躍で、華やかで楽しい会となりました。

なお、新倉屋の新倉吉晴さん(54期)、サンエースの長岡正三さん(55期)、中ノ目製菓の中ノ目孝道さん(65期)、大沢商会の黒坂則昭さん(67期)、堀内水産の堀内万紀子さん(67期)、みどりインターナショナルの山口緑さん(67期)、あまとうの柴田剛さん(71期)、北海道ワインの鳥村公宏さん(74期)には、賞品のご提供、おみやげの協賛をいただきました。また、開催にあたり多くの方よりご寄付を頂戴致しました。厚くお礼申し上げます。



同釜会(おなかまかい)報告

同じ釜の飯を食べ、親睦を深める忘年会として平成26年より始めた同釜会(おなかまかい)。平成28年は、

晴天に恵まれた12月4日の日曜日に、横浜中華街の『金龍飯店本店』にて開催されました。43期から95期ま

での同窓生 35 名とともに、廣田直直さん(72 期)の奥様、娘さんにもご参加いただき、総勢 37 名で豪華フカヒレ姿煮付の食べ放題、飲み放題を満喫しました。

同釜会は、今日出夫さん(67 期)の司会で始まり、上野淑子さん(47 期)の音頭による校歌斉唱、佐々島宏会長(65 期)の挨拶に続き、参加者最年長の林原隆一郎さん(43 期)の乾杯のご発声を合図に、4 卓に分かれたテーブルを囲んで、歓談、交流が行われました。

歓談の合間に、今回初参加した松原諄也さん(53 期)、

柏原恵造さん(69 期)、須川博之さん(69 期)、白鳥雅裕さん(70 期)に自己紹介、近況報告を頂きました。また、上野淑子さんには、美声(蘇州夜曲)を披露して頂きました。

飲み放題で盛り上がる中、あっという間に 3 時間が過ぎ、恒例となった 46 期の布施市蔵さん、島雄一さん、渡辺光三郎さんの一本締めで、閉会となりました。おみやげには、大高酵素ののど飴を頂きました。



『私は今』 近況 1 (平成 29 年 6 月の総会案内時の近況連絡より)

【35 期】橋本 是 (文京区) 胃腸内出血による貧血の為、長距離歩行困難。村住 恒雄 (小平市) 昨秋までは下手なゴルフを楽しんでおりましたが、脚腰不調となり、閉じこもっております。

【36 期】千葉 誠一 (下野市) 心筋梗塞を 3 年前からやっていますが、他は元気です。

【37 期】中山 保人 (町田市) たまにシルバーカーを押しての駅前での軽い買い物くらいが、要支援 2 級での行動の限界のようです。

【38 期】乾 学 (我孫子市) 昨年 10 月北海道新幹線を利用、函館へ。上野から 4 時間、便利になりました。年相応の元気で、週 4 回グラウンド・ゴルフを楽しんでいます。

【39 期】藤野 破摩雄 (横浜市) 今年 90 歳。ああ潮陵に暁鐘は鳴る青雲の志空しく、病身閑居中。小樽、東京級友激減、往時語ること少なし。

【40 期】新津谷 哲 (相模原市) 7 月で 90 歳。いまだ現役で外来に診療に多忙な毎日です。仲間が段々いなくなりました。中田 英夫 (さいたま市) 体調不良のため、安静しております。

【42 期】田代 武雄 (藤沢市) 平成 29 年 10 月に米寿を迎えますが、正常に生活しています。一柳 卓生 (藤沢市) 一昨年の 12 月初旬に多発脳梗塞で倒れてから、ほとんどベッドでの生活を送って居ります。

【43 期】鈴木 政次 (横浜市) 現在、ボランティア活動を続けながら何とか頑張っております。

【44 期】本間 正和 (三鷹市) 相模原協同病院院長退職後、横浜のカメリア診療所所長を今なお務めております。皆様によろしく。岡本 久信 (横浜市) すっかり足腰が弱くなり、遠出が不可能となっております。河原 敏明 (平塚市) 週 3~4 回程のパークゴルフで楽しみながら、無難に生活しております。簾内 清雄 (柏市) 歩行困難で遠出出来ません。西郡 久 (横浜市) 85 歳です。まだ生きています。部屋正面の夕焼け富士を眺め、時折り心静かに瞑想し、過しています。野村 肇 (千葉市) 階段上下の歩行がシンドクなりました。運動不足のせいでしょうか。

【45 期】松橋 健司 (取手市) 般若心経日本語訳の写経会。

【46 期】川越 重義 (横浜市) 元気に俳句、水墨画と老後

を楽しんでいます。**布施 市蔵** (小平市) 学生時代1時間でけた山小屋へ3時間もかけて行って来ました。里は桜満開、山の近辺はつぼみ、そして雪でした。**本間 佳** (横浜市) お陰で85歳になりました。同期で時々集まり、お互いの元気を支えています。**工藤 孝友** (札幌市) 今年6月、85歳になります。札幌に居住していますが会社が銀座ですので年に何回か上京しています。**島 雄一** (横浜市) 同期の叙勲祝いが九州であり欠席します。**中山 茂博** (横浜市) 健康に留意し、夫婦仲良くせいぜい飽きられないような人生を過ごしたい。**村守 清** (横浜市) アルツハイマー10年の家内の介護のために毎日元気に二人で遠出しています。**森 徹** (流山市) 元気で過しています。ゴルフや囲碁の先生など続けています。

【47期】上野 淑子 (横浜市) 日頃お世話になりまして有難く存じます。お役の方々本当に御苦労様でございます。**宮本 和明** (大和市) 今年も母校の大学実績に愕然。友曰く「小樽経済の衰退の経済格差が学力格差、進学格差を生む。」本当かな。因みに、塾は勉学の工夫と自助を妨げると理系女の孫は、今年唯一受験の東京六大学の雄の理工学部で昨今ロボット研究に勤む。母校よ、頑張れ、努力は裏切らず。

【48期】小島 黎子 (福生市) 早いもので82歳になりました。毎年同期会には必ず出席するようにしていますが、だんだんと人数も減ってきました。一気に昔に戻り楽しい会になっています。**村上 正信** (浜松市) 皆様お元気な事とおよろこび申し上げます。小生も元気にしています。**安達 伸一** (藤岡市) 残念ながら当日は、クラーククラブ(北大合唱団東京OB会)と4大学ジョイントコンサートの練習日と重なり出席が出来ません。この練習は6月11日東北大学のキャンパス内で行われるコンサートの最終練習日なので、避けることができません。次回の会に日程が合うようであれば是非参加したいと思っています。

【49期】安宅 忍 (中央区) 名古屋公演(ライブ)3日~4日のため行かれません。

【50期】芦川 泰子 (横須賀市) 年相応に元気かなと思っ
てます。年々桜が美しく感じられます。**伊藤 成人** (三鷹市) 年相応に元気で居ります。

【51期】佐々木 允明 (横浜市) 100歳を目指し、元気でやっています。**瀬戸 国彦** (川崎市) 肝炎により入院を繰り返しており、外出不能です。もうすぐ80歳を迎えます。皆様のご健康を祈っています。**谷口 勲** (町田市) 今回は生憎都合がつかず不参加ですが、年相応に元気でやっています。**鳥谷部 昭夫** (我孫子市) あちこ身体の支障を感じていますが何とか元気で過ごしています。**上諏訪 一明** (川崎市) 今年も熱い夏の戦い、今から恐怖です。**野田 徹** (さいたま市) 6月21日に定山溪で卒業60周年記念同期会があり、それに行きます。**原 絢一** (さいたま市) 毎日卓球をやっております。4月1日、自治会長就任。**中川 一枝** (船橋市) 旅行の予定あり、出席できません。御盛會を祈ります。

【52期】清水川 治二 (取手市) 東京小樽会会長11年目に入りました。喜寿をクリアし、元気にしています。**竹尾 昌己** (札幌市) 札幌市円山動物園のガイドボランティア勤しんでいます。**内山 邦昭** (春日部市) 家内の三回忌・母三十七・父五十回忌準備後処理にて遅くなりました。欠席します。

【53期】佐藤 眞 (厚木市) 昨年妻を急病で亡くしましたが、自分自身は至って元気で健康維持に精を出しています。**堀内 昭忠** (春日部市) 自治会役が回ってきました。自分の予定が立たず、地域優先の一年になりそう。**玉置 一男** (上尾市) 防災関係の仕事しております。**松原 諄也** (府中市) とりあえず元気です。

【54期】岩井 宏輔 (渋谷区) 生きている内にこの目で見たいもの。未知のウイルス、空気、電波、神、地球外生命体、私の赤い糸の行方、女心。**藤田 幸久** (横浜市) 後期高齢者になりましたが元気に過ごしています。趣味のミステリー創作を楽しんでいます。25冊の作品は Amazon Kindle Book(電子書籍)に発表しています。**本間 榮一** (大田区) 60歳でリタイヤして14年間、老人ホームで歌の慰問を続けております。今、月8ヶ所一人でマイクなしで歌っております。**山舘 博康** (茅ヶ崎市) 現在75才、今も現役で監査役を勤めています。**大橋 邦生** (町田市) 入院していたため遅くなりました。元気です!**梶 哲也** (蓮田市) 趣味川柳。**北原 正友** (富士見市) サラリーマンを定年退職後14年、現在は富士見市で年金生活です。町会活動など結構忙しく過ごしております。

【55期】金吉 雅人 (横浜市) 杖つき歩行になりましたが、元気に過ごしています。**木村 浩** (さいたま市) いつもご案内有難うございます。後期高齢者ながらありがたいことに会社勤めを続けています。カメラを持って新緑の中の美しい花々を見て歩くことを休日の楽しみにしています。近く8番目の孫の運動会もあり小学校の最後の行事参加で思い出になる写真を沢山撮るのが私の役目です。潮陵の同期会にも時々参加していますが遠出が億劫で最近では東京も遠くなりました。欠席で申訳ありません。会報は楽しみにしています。

【56期】是安 克彦 (掛川市) 長年に渡り、JR線を乗り回っており、あと只見線を残すのみとなりました。**加藤 義雄** (上尾市) 今年1月に入院、2月下旬退院と体調がもう一歩につき失礼します。**中島 健夫** (横浜市) 頑固爺さんやっています。

【57期】本間 幸正 (相模原市) 元気な72歳として相模原市で活動しています。

【58期】内山 一彦 (横須賀市) 元住宅メーカー営業職。趣味:山登り、スキー、旅行、落語。ボランティア:山林・竹林の整備、老人会で落語、歴史的建造物の保全・活用。歴史的建造物の保全・活用。**松岡 厚** (越谷市) お陰様で元気に過しております。

【59期】竹内 美恵子 (江東区) 昨年古希を迎えました。生活習慣病と折合いをつけながら、老人福祉施設のパート看

護師をしています。望まれるうちは続けたいと思っています。**齋藤 健三**(宇都宮市)相変わらず月2~3回の健康ゴルフとコンサート、観劇などを楽しんでいます。**堀 喜久子**(秦野市) 役員の皆さま、いつもご連絡ありがとうございます。今回も、参加できず残念です。定職を退いて6年目、時々の仕事を楽しみながら日を送っています。「旅企画・実際の旅・旅日記の作成・ムービー制作」と、ひとつぶで4度おいしい旅を味わっています。次回は参加したいと思っています。

【60期】**一宮 廣史**(さいたま市) 卒業して早くも51年目、何とか無事に古希を迎えます。母校の発展を祈念いたします。**本間 知嘉子**(さいたま市) 公共施設を利用し、頭と体を動かすよう、つつましく生活しています。**加藤 輝男**(入間市) スキー部に所属、銀行員。**長谷川 甫**(板橋区) 体調不良につき欠席いたします。**米谷 悟**(静岡市) 小樽とは全く季節感の異なる静岡に住んで30年となります。現役を退き、時折会社、大学、高校時代の仲間と談笑する日々を過ごしています。

【61期】**牧野 年**(さいたま市) 大過なく毎日を過ごしています。月~金の出勤で女房殿にも喜ばれていると思っています(?) **高橋 昭**(朝霞市) 昭和42年卒業生(50周年祝&古希祝)の同期会が6月23日に小樽で開催。**長屋 由希恵**(横浜市) 高校を卒業して50年になります。高齢者施設に頼まれて歌のボランティアをしています。**甲田 隆**(春日部市) 元気で過ごして居ります。行事には出席出来ませんが、ご盛会を祈ります。**重田 秀人**(横浜市) 脳梗塞を患いましたが、運良く軽くて済み、その後も、東京湾水先人として勤務しています。

【62期】**武田 立**(品川区) 仙台を引き払って東京勤務になりました。

【63期】**佐竹 茂市郎**(立川市) 在学中は詩吟部部長、現在の職業は税理士。**竹田 信一**(横浜市) 今回は札幌に行って欠席となります。ご盛会を祈念致します。**四十物 実**(柏市) 小樽と柏の行ったり来たりです。小樽は雪がとけ、水仙、ふきのとうの芽が出始めました。**渡辺 裕子**(茅野市) 忙しい日々を送っています。

【64期】**松田 憲幸**(松戸市) 昨年6月に小樽が本社の会社を退職し、7月に妻の故郷であり娘達が住む東京の近県へ転居しました。

【65期】**安藤 治**(狭山市) 在学中は野球部。現在は日々囲碁を楽しんでいます。**滝沢 純**(坂戸市) 趣味ゴルフ。自動車研究所定年後、家具メーカー技術アドバイザー。中国駐在経験有り、現在も中国・東南アジアに月一回出張しています。**南澤 孝夫**(浦安市) 昨年6月に製菓会社を退職し、現在は、完全フリーになりました。大学時代のように、旅行、山登り、読書三昧の生活です。潮陵高校では、美術部(白潮会)に所属していました。

【66期】**山崎 信行**(千葉市) ヨット部在籍、高松インターハイ出場。現在は生鮮流通ベンチャー立ち上げています。

【67期】**阿部 弘行**(日立市) 2年ほど前から首都圏の67期同窓会に参加しております。還暦を過ぎますと、昔の仲

間との交流が大きな楽しみになっています。今回はたまたま同じ日に過去在籍していた会社のOB会と重なったため、出席できません。**今日出夫**(横浜市) 軟式テニス部でした。現在は週2回のバドミントンを楽しんでいます。**岸田 仁**(横浜市) 帰宅部。鉄鋼メーカー系列の会社で溶接技術の開発、品質管理に従事。定年後は溶接技能認定の協会に勤務しています。**萩野 裕之**(藤沢市) 陸上部で110mハードルやってきました。現在は西武建設で震災復興工事に従事。休日はゴルフ、テニス、スキー、自転車と忙しいこのごろです。**山平 透**(春日部市) 在学中は少林寺拳法部。趣味は数独、70年代の歌謡曲鑑賞。職種は私大の事務職です。**神山 実樹**(さいたま市) 還暦の記念に受験し、現在62歳で“現役女子大生”をやっております。

【70期】**五味沢 友康**(横浜市) 今年で60才になります。おかげ様で元気ですごしております。スケジュールが合わず当番期ですが、お手伝いかなわず申し訳ありません。

【71期】**渡辺 幹夫**(新宿区) 30年余勤務してきた富士フィルム(株)をそろそろ定年退職する予定で、次に向けて準備中のところです。

【72期】**廣田 直行**(千葉市) サッカー部(暁鐘会)。仕事があり出席できません。

白鳥 雅裕(横浜市) 所用のため欠席します。昨年暮れに同釜会に初めて参加させて頂きました。懐かしい方と思い出話に花を咲かせました。在校時は音楽部で合唱をやりました。また、生徒会執行部をやっていた時に中村裕之さんといっしょに活動していました。子供が大学生と小学生のため仕事に一生懸命頑張っています。

【73期】**中村 裕之**(千代田区) 小樽JCTのフル化を3月末に実現することができました。高速道路小樽~余市間の分岐点となる小樽 JCT は札幌方面から余市方面にのみ流入できるハーフ JCT として供用予定でしたが、小樽方面からも流出が可能となるフル JCT で整備する許可が下りました。小樽 IC 近くには中核病院が集中しており、昨年事業化した俱知安までの高速道路延伸と合わせ、後志からの救急移送にも大きな時短効果が見込めます。また小樽とニセコエリアを結ぶ観光ルートの魅力も高まり、インバウンドにも貢献できます。初当選直後より要望を受けてきた難題であり喜びもひとしおです。**山下 眞毅**(三鷹市) 現在、仕事で日本国内と海外を飛び回っています。海外では、何処へ行っても日本人というだけで信頼して付き合ってくれます。戦後日本の復興にご尽力された先輩方に感謝感謝の毎日です。**大町 宏志**(立川市) 今年の夏アパート取壊しに伴う引越しに向けて部屋の中を一隅ずつ片付けています。GWでも台所しかゴミ屋敷状態から脱出できませんでした。

【75期】**杉中 雅博**(横浜市) 土日で都合があれば、団地の手押し芝刈り機で、うちの棟の裏庭の芝刈りを、同じ棟のおじさんとやっております。(^^)

【77期】**楨野 いづみ**(町田市) 息子が成人式をむかえ、ほっと一息つきたいところですが、大学が遠い為に毎日5時起きが生活が、相変わらず続いております。

【79 期】尾上 めぐみ（大田区）残念ながら、定時総会&新会員歓迎会には参加が叶いません。吉田 新（柏市）当日参加のためにギリギリまで日程の調整に努めましたが、どうしても時間の都合がつかず、当日は残念ながら欠席いたします。自民党参議院議員の政策担当秘書を務めており、会期末を控え、バタバタとしております。

【82 期】石井 輝（文京区）2015 年に札幌より転勤で東京に来て 3 年目になります。2003 年に現在勤務する会社の札幌支店に中途入社していますが、ずっと不動産関係の仕事をしております。66 期の先輩(最初の就職先の採用担当でした)より、同窓会への参加を奨めていただき、今回参加いたします。学生時代は帰宅部で、喫茶コーナーに入り浸

りでした。

【95 期】岩間 世界（横浜市）本年度より、熊本学園大学に移りました。今回は都合がつかず欠席させていただきます。夏休みには小樽に帰省する予定で、実験教室、工作教室を複数開催します。現役の潮陵生も教える側で参加頂ける予定です。そちらの方でお目にかかれればと思います。

【96 期】富永 剛晴（文京区）在学中はバレー部とディベート同好会。就職先は財務省。

【99 期】村上 文一（豊島区）空手部でした。ITコンサルティング会社でエンジニアとして働いています。

【105 期】二木 涼（港区）在学中のサークル:陸上競技部, 趣味:ロードバイク, 就職先:株式会社大林組。

『私は今』 近況 2（平成 29 年 12 月の同釜会案内時の近況連絡より）

【39 期】亀 昌治（横浜市）10 月に近所を散歩中転倒し、足を傷め、現在も十分に歩けない状態ですので欠席致します。皆様によろしく。

【40 期】中田 英夫（さいたま市）90 歳となり、何とか頑張っ

て暮らしています。【43 期】山口 保（世田谷区）膝を痛めて歩行が苦痛ですが、元気にスポーツクラブのプールで歩いています。林原 隆一郎（横浜市）昨年は中華街で同釜会を楽しみましたが、来年は是非また参加します。

【45 期】劔物 治郎（東村山市）ギリギリまで日程の調整をしましたがこの度の『同釜会』は残念ですが、他の要件と重なりますので欠席させていただきます。会長はじめ皆様によろしくお伝えください。

【46 期】川越 重義（横浜市）小生、絵に俳句にと、何とか多忙にして居ります。布施 市蔵（小平市）10 月の末に山に行き来しましたが、雨の為、三本の沢の水流がひどく、ようやく渡れました。やはり、年齢には勝てませんね。本間 佳（横浜市）現在 85 歳、お陰で長生きしています。工藤 孝友（札幌市）11 月 22 日まで東京に居りますが、以後、札幌に帰ります。この度は欠席させていただきます。皆様によろしく。中山 茂博（横浜市）日常、元気で過ごしている私ですが、ガンの病魔には勝てず、毎年入退院を繰り返しております。会に出席出来ず申しわけありません。

【47 期】金子 明石（松戸市）この秋、肺炎で入院したため、すっかり体力が落ちてしまい、歩行練習中です。杉山 桂子（中央区）昨年は、とても楽しいひとときでした。体調が良くなく、欠席させていただきます。

【48 期】照井 義弘（日野市）元気で過ごしています。都合悪く欠席します。所 ヨリ子（山形市）体調不良のため出席出来ません。どうぞ楽しい同釜会であります様、お祈り申し上げます。

【51 期】大木 恵子（浦安市）元気にしております。佐々木 允明（横浜市）おかげさまで元気にやっています。中野 政一（茅ヶ崎市）腰痛治療中の為、出席出来ません。

野田 徹（さいたま市）80 の手習いではないけれど、パソコン教室に通うので、よろしく！ 松原 諄也（府中市）元気でガンバっています。

【54 期】中野 有子（牛久市）私も後期高齢者の一員になりました。一日を大事に過ごしていきたいと思います。牛久市が生んだ稀勢の里関にあやかって元気に暮らして居ります。藤田 幸久（横浜市）ミステリー創作の趣味を楽しんでいます。Amazon Kindle Book に発表しています。ジム通いで運動をしています。本間 榮一（大田区）2002 年 12 月から始めた慰問活動(歌)も、本年 12 月で 15 年間続けてまいりました。今も月に 8 ヶ所マイク無しで歌っています。当日も、その日に当たり、欠席させていただきます。竹内 晃（酒々井町）相変わらずやや丈夫で、長持ちしています。

【55 期】小西 良蔵（さいたま市）現在、週 2 でリハビリ中です。

【56 期】是安 克彦（掛川市）最近ドクターストップで、アルコールはほとんど飲んでおりません。長年のツケが回ってきました。加藤 義雄（上尾市）今年 1 月に大病しました。今は元気ですが、遠方へは控えていますのと、酒は禁止の為、盛会をお祈り致します。ありがとうございます。

【57 期】河合 洋子（春日部市）いつもお知らせ頂き、有難うございます。用事がありいけません。皆様によろしくお伝え下さい。

【61 期】梅村 勝（練馬区）練馬区での会があり残念。盛会を！ 牧野 年（さいたま市）アチコチ、ガタが来ていますが、会社に毎日出ています。先約所用のため、残念ながら欠席します。

【63 期】前野 一夫（千葉市）まだ現役で、木更津高専の学校長などしております。当日は、NHK 全国高専ロボコン大会で、全日、有明におりまして、残念ながら欠席します。中村 昭夫（練馬区）66 歳になりますが、練馬区立の駐車場に、月 24 日ほどのフル勤務で、多忙。77 歳でお元気に勤務されている方もいらっしゃるようで、全体の中では、すごい若手です。(笑)

【65期】福井 早枝子（横浜市）会の会計をお手伝いしております。この会を今後引き継いでいって下さる方を募っております。

【67期】大塚 雅則（吹田市）現在、会社を定年して大阪に住んで居ります。

【69期】呉 千恵子（牛久市）茨城に住むようになって25年。毎年人気最下位の茨城県ですが、住むにはなかなか良い所です。柏倉 恵造（足立区）4月より霞が関トラベルという旅行会社に再就職しました。1年契約ですが、65歳～70歳までは働く所存です。

【72期】滝谷 元（鴻巣市）なかなか出席できず申し分けありません。当方、元気しております。

【73期】中村 裕之（千代田区）お陰様で先の衆議院総選挙で3回目の当選の栄を賜うことができました。今回はぎりぎりまで出席できないか日程を調整致しましたが、地元選

挙区での行事もあり断念いたしました。これに懲りずまたご案内をいただけますようお願いいたします。ご参加の皆様が良い年越しを迎えられます事をご祈念いたします。田邊 真左彦（北区）在学中はひたすらバスケットボールを追いかけておりました。小樽商大に進学し、卒業後は就職で上京し、それ以来東京で暮しています。大町 宏志（昭島市）学部卒業後、四半世紀も住み続けた立川市旧砂川町地区を淘汰追放され、現在仮転居中の身です。

【75期】杉中 雅博（横浜市）10月に小樽へ帰省した際、鱸友朝市で小ぶりの干しガレイ（宗八）を買いました。しみじみ美味しかったです♪

【81期】福田 洋（中央区）順天堂大学医学部総合診療科で勤務しております。所用のため欠席いたします。

訃報 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

佐藤 正之 (30期)	平成 27 年	内田 茂 (44期)	平成 26 年 7 月	並木 幸芳 (49期)	平成 28 年 5 月
佐藤 多津雄 (35期)	平成 22 年	斉藤 盛 (44期)	—	横内 隆寛 (49期)	平成 25 年 11 月
松井 哲 (35期)	平成 29 年 1 月	井筒 秀子 (45期)	平成 28 年 3 月	石原 和子 (50期)	平成 26 年
八幡 英二 (35期)	平成 28 年 7 月	川出 澄子 (45期)	—	住友 忠明 (51期)	平成 29 年 7 月
松井 正道 (38期)	平成 25 年 11 月	増田加代子 (45期)	平成 28 年 11 月	川上 裕 (54期)	平成 29 年 3 月
岩谷 元彰 (39期)	平成 28 年 9 月	山田 清治 (45期)	平成 27 年	後藤 暢夫 (54期)	平成 27 年 6 月
菊池 欣二 (39期)	平成 28 年 11 月	佐々木 忍 (46期)	平成 26 年 10 月	福田 信昭 (55期)	平成 28 年 2 月
笹原 孝治 (39期)	平成 26 年 9 月	西田 勉 (46期)	—	中山 契伺 (57期)	平成 28 年 4 月
中沢 義雄 (39期)	平成 28 年 11 月	中山 条爾 (46期)	平成 29 年 8 月	長井 元一 (58期)	平成 27 年
小笠原 厚 (41期)	平成 26 年 8 月	福沢 みさよ (47期)	平成 27 年 12 月	高橋 正明 (61期)	平成 28 年 8 月
西田 清晴 (41期)	平成 28 年	生田 耕平 (48期)	平成 29 年 2 月	熊谷 正裕 (63期)	—
村田 恵助 (41期)	平成 28 年 1 月	安田 マリ子 (48期)	平成 27 年 9 月		
那須 一夫 (42期)	平成 28 年 7 月	常盤 直行 (49期)	平成 26 年		

(平成 28 年度総会後に訃報のご連絡を頂いた方々)

学校短信

北海道小樽潮陵高等学校長 千葉浩次

東京潮陵樽中会の皆様方には、日頃より母校の教育活動にご理解とご支援いただいておりますことに心から感謝申し上げます。会報「潮陵」の発行に際し、母校の近況について報告させていただきます。

【学校の状況】

<全日制>

全日制は、平成 28 年度に 6 間口完成年度を迎え(1 学年 6 クラス)、現在は全校生徒在籍 710 名となっています。

生徒の数は減っても、先輩達が築き上げ脈々と継承されてきた「文武両道」の精神はしっかりと引き継がれ、生徒は日々勉強に、部活に、行事に、一生懸命取り組み、「高いレベルの文武両道」を実践してくれています。

<定時制>

年々入学者数が減少し、新入生の数は 28 年度が 5 名、29 年度は 3 名と少なく、現在全校生徒在籍 19 名という厳しい状況となっています。

昨年度から 3 修制を取り入れ、北海道有朋高校との連携により希望者については 3 年間で卒業できるシステムもでき、多くの生徒が 3 年間での卒業を目指し頑張っています。

【進路実績】

<全日制>

29 年 3 月に卒業した生徒は、6 間口完成年度を迎え、これまでより 40 名程度卒業生が減ったにもかかわらず、国公立大学に例年と変わらない 83 名もの現役合格者をだし、また、一

橋大学、東北大学など難関大学にも現役合格者をだすなど大いに健闘しました。また、本校が北海道教育委員会の指定を受けている「医進類型(地域医療を支える人づくりプロジェクト)」の成果もあり、現役2名と過年度卒業生1名が国公立大学医学部医学科に合格、また過年度卒業生3名が私立大学医学部医学科に合格し、この春には一挙に6名の卒業生が医学部医学科に合格するという成果もあげました。

<定時制>

29年3月に卒業した生徒は、4年制大学進学、専門学校進学、一般就職と全員が卒業時にしっかりと進路を決定させる立派な進路実績を残しました。

【部活動】

<全日制>

部活動については体育系・文化系ともに活発に活動し、素晴らしい戦績を残しております。

体育系では、今年度の高体連後志支部大会で、弓道部、卓球部、陸上部が団体で男女アベック優勝。男子バスケット部、女子テニス部、男子山岳部が団体優勝。その他個人でも多数の生徒が優勝や上位入賞を果たし10の部活動が全道大会出場権を獲得。さらに全国大会(インターハイ)には陸上部2名と水泳部4名が出場権を獲得しました。

また、残念ながら甲子園出場は果たせませんでした。野球部が支部大会を制し、2年ぶり24度目の夏の甲子園をかけた南北海道大会に進出、全校応援も実施しました。

文化系では、文芸部が活躍。俳句甲子園北海道予選会で、難竈幼稚園川東高校を見事2年連続破り北海道予選会2連覇を

果たし、2年連続俳句甲子園全国大会に出場し、奨励賞も受賞しました。また、高文連後志支部音楽大会では吹奏楽、合唱、琴の3部門のすべてに優勝を果たし全道大会に進出などの活躍も見せました。

<定時制>

今年度は定通体連などへの参加はできませんでしたが、バドミントン部に多くの生徒が加入し、放課後仲良く活動しています。

【ニュージーランド語学研修派遣】

今年度2年目を迎えた潮陵倶楽部主催のニュージーランド語学研修派遣には、13名もの応募の中から、1年生女子1名と2年生女子1名の2名が選ばれ、7月21日から8月6日まで2週間の日程でニュージーランドのダニーデン市にあるオタゴ大学ランゲージセンターでホームステイをしながら英語を学んできました。2名とも素晴らしい体験となったとのことで、帰国後は、夏休み明けの全校集会和潮陵倶楽部総会で研修報告を行いました。

以上、簡単に母校の近況について報告させていただきましたが、全日制・定時制ともに地域や保護者、そして先輩の皆様からの期待の大きい学校でありますので、今後も皆様の期待に応え、信頼される学校づくりに向けて頑張っておりまして参りたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

最後になりますが東京潮陵博中会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたし学校短信とさせていただきます。



音楽部定期演奏会



吹奏楽局定期演奏会



学校祭



体育祭



野球全校応援①



野球全校応援②

年会費納入と寄付・広告協賛のお願い／事務局より

東京潮陵樽中会は、昭和 33 年に発足以来、諸先輩、後輩の支援を得て 60 年目を迎える歴史と伝統を誇る広域関東圏在住者の同窓会です。小樽同窓会との連携、母校支援・同窓支援につながる活動の具体化を目指すとともに、本会の継続・発展のため若手会員募集に努めているところです。

本会の運営は会員諸氏の年会費一般 2,000 円、学生 1,000 円(75 歳以上無料)と寄付、広告協賛金によって支えられています。平成 28 年度の収入のうち、年会費は 280,000 円、寄付金は 202,000 円でした。これらの合計金額は年度計画予算の 69%と少なく、平成 28 年度収支決算は 154,000 円の赤字となり、前年度繰越金で補填せざるを得ませんでした。このため、本会報につきましても、最近 5 年間に 1 回以上の年会費納入・寄付または本会行事案内にご返事をいただいた方々に限定して郵送しております。

つきましてはこの現状をご理解いただき、年会費の納入をよろしくごお願い申し上げます。また、さらなる寄付金のご支援につきましても、改めてごお願い申し上げます。

納付方法ですが、次の(1)～(4)いずれかの方法で振込みをお願いいたします。なお、振込みの際、通信欄・連絡欄等には会費・寄付の別、卒期、e-mail アドレスを記

入いただくと助かります。

また、広告協賛につきましては事務局までご連絡をお願い申し上げます。

(1) ゆうちょ銀行の払込取扱票による振込み

- ① 払込取扱票の口座記号「00180-8-」
- ② 払込取扱票の口座番号「61069」を右詰で記入
- ③ 加入者名「東京潮陵樽中会」

(2) ゆうちょ銀行からの振替(記号番号で電信振替)の場合

- ① 送金先口座は「00180-61069」
- ※ 払込取扱票での口座記号末尾「-8-」は不要

(3) ゆうちょ銀行からの振替(店名で電信振替)の場合

- ① 店名は「ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキユウ)店」
- ② 口座種別は「当座」
- ③ 送金先口座番号「0061069」

(4) 他の金融機関(ゆうちょ銀行以外)から振込の場合

- ① 銀行名は「ゆうちょ銀行」
- ② 店名は「〇一九(ゼロイチキユウ)店」
- ③ 預金種目は「当座」
- ④ 口座番号は「0061069」

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。	00180-8	61069
00180-8	金額	2000	2000
東京潮陵樽中会	料 金	東京潮陵樽中会	山田 太郎
〇〇	※会費、寄付等の費目を記入ください。	加入者名	山田 太郎
〇〇期(〇〇年3月平)	※期あるいは卒業年月を記入ください。	金額	2000
00000@00000.00	※お使いでしたら、e-Mail IDを記入ください。	おなまえ	山田 太郎
〒000-0000		依頼人	山田 太郎
東京都〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		依頼人	山田 太郎
山田 太郎		料 金	2000
(ご連絡先電話番号 03-0000-0000)		備 考	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。		この受領証は、大切に保管してください。	

編集後記

会報 14 号は、当会の創立 60 周年記念号として、「OB・OG の経験を母校の現役生徒に伝え、楽しい人生と職業を目指してもらおう」をテーマに編集致しました。「OB・OG アンケート」では、予想を上回る 62 名もの OB・OG から回答が寄せられました。また、二人の OB から「寄稿」をいただきました。改めて御礼申し上げます。「母校出前セ

ミナー」も、生徒と OB が直接交流することにより、思いが伝わったと感じています。会報 14 号は、母校の生徒全員に配布致します。先輩達の生き様を見せることで、生徒たちの将来の進路選択に、少しでも参考になればと願っています。

事務局長 南澤 孝夫(65 期)

役員・幹事

役職	名前	卒業期	役職	名前	卒業期	役職	名前	卒業期
会長	佐々島 宏	全65期	幹事	間 利弘	全58期	常任幹事	山下 眞毅	全73期
副会長	今 日出夫	全67期	幹事	稲澤 君夫	全58期	常任幹事	和田 一男	全74期
副会長	岸田 仁	全67期	常任幹事	東口 豊	全59期	幹事	飯田 恵之	全77期
監事	佐竹 茂市郎	全63期	幹事	柳田 眞典	全60期	常任幹事	木戸 敬太	全77期
事務局長	南澤 孝夫	全65期	常任幹事	高橋 昭	全61期	幹事	織田 めぐみ	全79期
事務局次長	福井 早枝子	全65期	常任幹事	武田 立	全62期	(連絡係)	鈴木 幸子	全81期
幹事	島 雄一	全46期	幹事	西谷 謙司	全62期	常任幹事	柳原 文	全82期
常任幹事	上野 淑子	全47期	幹事	前野 一夫	全62期	常任幹事	佐々木 文雄	全85期
幹事	増田 裕二	全48期	常任幹事	橋本 明久	全64期	常任幹事	宮野 人至	全86期
幹事	六郷 民治	全49期	常任幹事	苫 孝二	定64期	常任幹事	小葉松 知行	全90期
(連絡係)	蛸島 義弘	全50期	常任幹事	滝沢 純	全65期	常任幹事	小島 綾乃	全90期
常任幹事	上諏訪 一明	全51期	常任幹事	南澤 孝夫	全65期	常任幹事	須永 いづみ	全93期
幹事	金栄 紘夫	全53期	常任幹事	山崎 信行	全66期	幹事	村上 文一	全99期
常任幹事	永野 茂	全54期	常任幹事	館山 恵子	全66期			
常任幹事	寺岡 恵美子	全56期	幹事	広田 直行	全72期			

住みよい街、暖かな人、
社会に育まれ いま明日へ

木 材・建設資材・建設業
北海道ハウス シグマハウス ミチヨリハウス

西條産業株式会社

代表取締役 西 條 文 雪 (65期)
常務取締役 西 條 公 敏 (97期)

本 社 / 〒047-0006 小樽市有槻町2番16号 TEL(0134)25-5011
札幌支店 / 〒065-0025 札幌市東区北25条東9丁目2-6 TEL(011)751-0101


 BRAINPARTNER

事業成長を支援するコンサルティング会社
(経営計画作成、営業力強化、人材育成、人事制度構築)

株式会社ブレインパートナー

代表取締役 **和田一男** (74期)

東京都渋谷区宇田川町6-20 パークアクシス渋谷神南12階
TEL 03-6325-1715
mailto:wada@brainpartner.co.jp
http://www.brainpartner.co.jp/

 創業1950年の小樽老舗
甘納豆の中ノ目

十勝産 金時・小豆甘納豆 JAきたみらい産 白花甘納豆

中ノ目製菓株式会社

代表取締役 **中ノ目 孝道** (65期)

北海道小樽市奥沢3丁目2番9号
TEL:0134-25-6000 FAX:0134-25-6002
http://www.nakanome.com mail:beans@nakanome.com

 北海道小樽潮陵高等学校

関東地区同窓会

東京潮陵樽中会

mail: info@choryo.org
http://www.choryo.org

事務局: 浦安市日の出1-3-22-406 南澤 孝夫 方
TEL: 080-5498-8305

発行日 平成29年12月 発行人 東京潮陵樽中会 佐々島 宏(65期) 編集人 南澤 孝夫(65期)